

(様式第10)

厚生労働大臣

殿

令和 7年 10月 2日
番 岩医大病企第 88 号
開設者名 学校法人岩手医科大学
理事長 祖父江 憲治

岩手医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号
氏名	学校法人岩手医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

岩手医科大学附属病院

3 所在の場所

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号
電話 (019)613-7111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/> 2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科							有
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科		6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科		<input type="radio"/>		11リウマチ科
診療実績							
・血液内科 : 血液・腫瘍内科 ・代謝内科 : 糖尿病・代謝内科、内分泌内科 ・感染症内科 : 呼吸器内科							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
・内分泌外科:外科							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	児童精神科	3	臨床検査科	4	病理診断科	5	肝臓内科
6	心療内科	7	老年内科	8	緩和ケア内科	9	肝臓外科	10	気管食道外科
11	形成外科	12	頭頸部外科	13	美容外科	14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位:床)
58				892	950	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	293	517	489.4
歯科医師	6	160	66.8
薬剤師	80	0	80
保健師	0	0	0
助産師	48	0	48
看護師	1171	0	1171
准看護師	1	0	1
歯科衛生士	5	0	5
管理栄養士	15	0	15

職種	員数
看護補助者	204
理学療法士	30
作業療法士	15
視能訓練士	1
義肢装具士	0
臨床工学士	39
栄養士	0
歯科技工士	0
診療放射線技師	59

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	63
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	13	
その他の技術員	0	
事務職員	180	
その他の職員	60	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	38	眼科専門医	12
外科専門医	56	耳鼻咽喉科専門医	13
精神科専門医	12	放射線科専門医	16
小児科専門医	34	脳神経外科専門医	23
皮膚科専門医	7	整形外科専門医	21
泌尿器科専門医	13	麻酔科専門医	8
産婦人科専門医	26	救急科専門医	11
		合計	290

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (森野 禎浩) 任命年月日 令和 2024 年 8 月 1 日

医療安全関係の学内委員会への出席状況(2024年度出席回数)

- ・総合医療安全対策会議 2024年4月から12回(全12回)
- ・緊急安全対策会議 2024年4月から1回(全1回)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	755.2 人	6 人	761.2 人
1日当たり平均外来患者数	654.3 人	35.7 人	690 人
1日当たり平均調剤数		1275	剤

必要医師数	134.34	人
必要歯科医師数	3	人
必要薬剤師数	28	人
必要(准)看護師数	434	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	1261.4 m ²	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	22 床 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	564.2	m ²	病床数	45 床
	[移動式の場合]	台数		台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	147.2			m ²
	[共用室の場合]	共用する室名	薬務室			
化学検査室	402.6 m ²	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	(主な設備)	生化学自動分析装置、全自動尿分析装置、総合血液学検査・自動塗抹標本作成装置、免疫発光測定装置、免疫統合自動分析装置 他		
細菌検査室	183.3 m ²	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	(主な設備)	質量分析計、薬剤感受性試験装置、血液培養自動分析装置、全自動抗酸菌培養検査装置 他		
病理検査室	247.8 m ²	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	(主な設備)	凍結組織切片作成装置、ホルマリン対策臓器撮影装置、自動ガラス封入・染色装置、システム生物顕微鏡 他		
病理解剖室	50 m ²	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造	(主な設備)	感染防止対策用解剖台、ラミナーフローユニット、プッシュプル型切り出し台、ホルマリン固定液作成装置 他		
研究室	15,148.30 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	研究用機器 他		
講義室	4305.8 m ²	鉄筋コンクリート	室数	21 室	收容定員	2848 人
図書室	1229 m ²	鉄筋コンクリート	室数	4 室	蔵書数	99800 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	91.6	%	逆紹介率	162.8	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		5763		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		12626		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1344		人
	D: 初診の患者の数		7755		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
佐藤 伸之	青森県立中央病院 医療安全推進監、医療安全管理室長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
長谷川 頌	長谷川菜園法律事務所 代表		法律に関する識見を有する者	無	1
奥寺 高秋	元岩手県職員		医療を受ける者その他医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
附属病院ホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	ロボット支援下結腸悪性腫瘍手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 結腸癌に対して支援下による結腸切除術を行う。			
医療技術名	ロボット支援下僧帽弁手術 (da Vinci)	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 da Vinciを用い、心臓弁膜症である僧帽弁閉鎖不全症に対する形成術を行う。			
医療技術名	ロボット支援下直腸切除・直腸切断術 (hinotori)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 直腸癌に対してロボット支援下による直腸切除術を行う。			
医療技術名	ロボット支援下腓体尾部切除術 (脾合併) (da Vinci)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 腓腫瘍に対してロボット支援下に腹腔鏡下腓切除を行う。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下胃切除術 (hinotori)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 hinotoriを用いた、ロボット支援腹腔鏡下胃切除術を行う。			
医療技術名	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 子宮体癌に対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術において傍大動脈リンパ節郭清を腹腔鏡下で行う。			
医療技術名	ロボット支援下肝切除術 (hinotori)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 肝腫瘍に対して支援下に腹腔鏡下肝切除を行う。			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	7
扱い患者数の合計(人)	48

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	0	175	ウィーバー症候群	0
2	筋萎縮性側索硬化症	16	176	コフィン・ローリー症候群	0
3	脊髄性筋萎縮症	0	177	有馬症候群	0
4	原発性側索硬化症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
5	進行性核上性麻痺	3	179	ウィリアムズ症候群	0
6	パーキンソン病	48	180	ATR-X症候群388	0
7	大脳皮質基底核変性症	3	181	クルーゾン症候群389	0
8	ハンチントン病	0	182	アペール症候群390	0
9	神経有棘赤血球症	0	183	ファイファー症候群391	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	184	アントレー・ビクスラー症候群392	0
11	重症筋無力症	21	185	コフィン・シリズ症候群393	0
12	先天性筋無力症候群	0	186	ロスマンド・トムソン症候群394	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	11	187	歌舞伎症候群	0
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	12	188	多脾症候群	1
15	封入体筋炎	2	189	無脾症候群	2
16	クロー・深瀬症候群	2	190	鰓耳腎症候群	0
17	多系統萎縮症	7	191	ウェルナー症候群	2
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	10	192	コケイン症候群	0
19	ライソゾーム病	2	193	ブラダー・ウイリ症候群	1
20	副腎白質ジストロフィー	0	194	ソトス症候群	0
21	ミトコンドリア病	3	195	ヌーナン症候群	0
22	もやもや病	38	196	ヤング・シンプソン症候群	0
23	プリオン病	2	197	1p36欠失症候群	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	198	4p欠失症候群	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	199	5p欠失症候群	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
27	特発性基底核石灰化症	0	201	アンジェルマン症候群	0
28	全身性アミロイドーシス	10	202	スミス・マギニス症候群	0
29	ウルリッヒ病	0	203	22q11.2欠失症候群	0
30	遠位型ミオパチー	0	204	エマヌエル症候群	0
31	ベスレムミオパチー	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	206	脆弱X症候群	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
34	神経線維腫症	13	208	修正大血管転位症	5
35	天疱瘡	3	209	完全大血管転位症	6
36	表皮水疱症	0	210	単心室症	8
37	膿疱性乾癬(汎発型)	1	211	左心低形成症候群	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	212	三尖弁閉鎖症	4
39	中毒性表皮壊死症	0	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	4
40	高安動脈炎	5	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1
41	巨細胞性動脈炎	4	215	ファロー四徴症	2
42	結節性多発動脈炎	5	216	両大血管右室起始症	3
43	顕微鏡的多発血管炎	20	217	エプスタイン病434	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	218	アルポート症候群435	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	5	219	ギャロウェイ・モワト症候群436	0
46	悪性関節リウマチ	0	220	急速進行性糸球体腎炎	9
47	バージャー病	1	221	抗糸球体基底膜腎炎	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	222	一次性ネフローゼ症候群	54
49	全身性エリテマトーデス	46	223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	29	224	紫斑病性腎炎	0
51	全身性強皮症	13	225	先天性腎性尿崩症	0
52	混合性結合組織病	8	226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0
53	シェーグレン症候群	3	227	オスラー病	4
54	成人発症ステル病	3	228	閉塞性細気管支炎	0
55	再発性多発軟骨炎	0	229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0
56	ベーチェット病	13	230	肺胞低換気症候群	0
57	特発性拡張型心筋症	21	231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0
58	肥大型心筋症	7	232	カーニー複合	0
59	拘束型心筋症	0	233	ウォルフラム症候群	0
60	再生不良性貧血	40	234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0
61	自己免疫性溶血性貧血	5	235	副甲状腺機能低下症	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	236	偽性副甲状腺機能低下症	0
63	免疫性血小板減少症	43	237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0

4 指定難病についての診療

64	血栓性血小板減少性紫斑病	2	238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2
65	原発性免疫不全症候群	7	239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
66	IgA腎症	32	240	フェニルケトン尿症	1
67	多発性嚢胞腎	8	241	高チロシン血症1型	0
68	黄色靭帯骨化症	6	242	高チロシン血症2型	0
69	後縦靭帯骨化症	17	243	高チロシン血症3型	0
70	広範脊柱管狭窄症	0	244	メープルシロップ尿症	0
71	特発性大腿骨頭壊死症	4	245	プロピオン酸血症	0
72	下垂体性ADH分泌異常症	1	246	メチルマロン酸血症	0
73	下垂体性TSH分泌亢進症	0	247	イソ吉草酸血症	0
74	下垂体性PRL分泌亢進症	0	248	グルコーストランスporter-1欠損症	0
75	クッシング病	1	249	グルタル酸血症1型	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	3	250	グルタル酸血症2型	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	4	251	尿素サイクル異常症	0
78	下垂体前葉機能低下症	13	252	リジン尿性蛋白不耐症	6
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1	253	先天性葉酸吸収不全	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	254	ボルフィリン症	1
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1	255	複合カルボキシラーゼ欠損症	1
82	先天性副腎低形成症	0	256	筋型糖原病	0
83	アジソン病	1	257	肝型糖原病	1
84	サルコイドーシス	31	258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
85	特発性間質性肺炎	17	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
86	肺動脈性肺高血圧症	12	260	システロール血症	0
87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0	261	タンジール病	0
88	慢性血栓性肺高血圧症	8	262	原発性高カイクロミロン血症	0
89	リンパ管筋腫症	0	263	脳腫黄色腫症	0
90	網膜色素変性症	1	264	無βリポタンパク血症	0
91	バッド・キアリ症候群	4	265	脂肪萎縮症	0
92	特発性門脈圧亢進症	1	266	家族性地中海熱	0
93	原発性胆汁性胆管炎	45	267	高IgD症候群	0
94	原発性硬化性胆管炎	5	268	中條・西村症候群	0
95	自己免疫性肝炎	21	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
96	クローン病	92	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
97	潰瘍性大腸炎	83	271	強直性脊椎炎	1
98	好酸球性消化管疾患	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	274	骨形成不全症	0
101	腸管神経節細胞減少症	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	276	軟骨無形成症	1
103	CFC症候群	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	1
104	コステロ症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	2
105	チャージ症候群	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
106	クリオピリン関連周期熱症候群	2	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	2
107	全身型若年性特発性関節炎	11	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	5
108	TNF受容体関連周期性症候群	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	283	後天性赤芽球癆	1
110	ブラウ症候群	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
111	先天性ミオパチー	0	285	ファンコニ貧血	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
113	筋ジストロフィー	10	287	エプスタイン症候群	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	3
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
116	アトピー性脊髄炎	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
117	脊髄空洞症	1	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	0
118	脊髄髄膜瘤	0	292	総排泄腔外反症	0
119	アイザックス症候群	1	293	総排泄腔遺残	0
120	遺伝性ジストニア	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
121	脳内鉄沈着神経変性症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	296	胆道閉鎖症	0
123	HTRA1関連脳小血管病	0	297	アラジール症候群	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	298	遺伝性肺炎	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	299	嚢胞性線維症	0
126	ペリー病	0	300	IgG4関連疾患	2
127	前頭側頭葉変性症	0	301	黄斑ジストロフィー	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	303	アッシュャー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	2
131	アレキサンダー病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
132	先天性核上性球麻痺	0	306	好酸球性副鼻腔炎	1
133	メビウス症候群	0	307	カナバン病	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	308	進行性白質脳症	1
135	アイカルティ症候群	0	309	進行性ミオクロースてんかん	0
136	片側巨脳症	0	310	先天異常症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	311	先天性三尖弁狭窄症	0
138	神経細胞移動異常症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
140	ドラベ症候群	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	316	カルニチン回路異常症	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	317	三頭酵素欠損症	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	318	シトリン欠損症	0
145	ウエスト症候群	1	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
146	大田原症候群	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	321	非ケトosis型高グリシン血症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
150	環状20番染色体症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
151	ラスムッセン脳炎	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
152	PCDH19関連症候群	0	326	大理石骨病	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
154	睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症及びてんかん性脳症	0	328	前眼部形成異常	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	329	無虹彩症	0
156	レット症候群	0	330	先天性気管狭窄症	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	0
158	結節性硬化症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
159	色素性乾皮症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
160	先天性魚鱗癬	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	335	ネフロン癆	0
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3	336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
163	特発性後天性全身性無汗症	2	337	ホモシチン尿症	0
164	眼皮膚白皮症	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0	339	MECP2重複症候群	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0	340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0
167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	0	341	TRPV4異常症	0
168	エーラス・ダンロス症候群	0	342	LMNB1 関連大脳白質脳症	0
169	メンケス病	0	343	PURA 関連神経発達異常症	0
170	オキシビタル・ホーン症候群	0	344	極長鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症	0
171	ウィルソン病	1	345	乳児発症 STING 関連血管炎	0
172	低ホスファターゼ症	0	346	原発性肝外門脈閉塞症	0
173	VATER症候群	1	347	出血性線溶異常症	0
174	那須・ハコラ病	0	348	口ウ症候群	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	121
合計患者数(人)	1,097

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
情報通信機器を用いた診療に係る基準	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
医療DX推進体制整備加算	ハイリスク妊娠管理加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	ハイリスク分娩管理加算
歯科外来診療医療安全対策加算2	呼吸ケアチーム加算
歯科外来診療感染対策加算3	術後疼痛管理チーム加算
歯科診療特別対応連携加算	後発医薬品使用体制加算1
特定機能病院入院基本料	バイオ後続品使用体制加算
特定機能病院入院基本料	病棟薬剤業務実施加算1
救急医療管理加算	病棟薬剤業務実施加算2
超急性期脳卒中加算	データ提出加算
診療録管理体制加算3	入退院支援加算
医師事務作業補助体制加算1	精神科入退院支援加算
急性期看護補助体制加算	認知症ケア加算
看護職員夜間配置加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
療養環境加算	精神疾患診療体制加算
無菌治療室管理加算1	精神科急性期医師配置加算
無菌治療室管理加算2	排尿自立支援加算

緩和ケア診療加算	地域医療体制確保加算
小児緩和ケア診療加算	地域歯科診療支援病院入院加算
精神科応急入院施設管理加算	救命救急入院料3
精神病棟入院時医学管理加算	特定集中治療室管理料1
精神科身体合併症管理加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
精神科リエゾンチーム加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
摂食障害入院医療管理加算	総合周産期特定集中治療室管理料
医療安全対策加算1	新生児治療回復室入院医療管理料
感染対策向上加算1	小児入院医療管理料2
患者サポート体制充実加算	緩和ケア病棟入院料1
重症患者初期支援充実加算	児童・思春期精神科入院医療管理料
報告書管理体制加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料	癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	舌下神経電気刺激装置植込術
糖尿病合併症管理料	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
がん性疼痛緩和指導管理料	人工中耳植込術
がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
がん患者指導管理料イ	耳管用補綴材挿入術
がん患者指導管理料ロ	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
がん患者指導管理料ハ	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
がん患者指導管理料ニ	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
外来緩和ケア管理料	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	顎関節人工関節全置換術(歯科)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
糖尿病透析予防指導管理料	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
婦人科特定疾患治療管理料	乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
腎代替療法指導管理料	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
二次性骨折予防継続管理料1	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
二次性骨折予防継続管理料3	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法

下肢創傷処置管理料	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
慢性腎臓病透析予防指導管理料	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来放射線照射診療料	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料1	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
連携充実加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
がん治療連携計画策定料	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来排尿自立指導料	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ハイリスク妊産婦連携指導料1	食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
ハイリスク妊産婦連携指導料2	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
こころの連携指導料(Ⅱ)	胸腔鏡下弁形成術
薬剤管理指導料	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
医療機器安全管理料1	胸腔鏡下弁置換術
医療機器安全管理料2	経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的な大動脈弁置換術)
医療機器安全管理料(歯科)	経皮的僧帽弁クリップ術
精神科退院時共同指導料1及び2	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術
歯科治療時医療管理料	不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
救急患者連携搬送料	不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)

在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	経皮的中隔心筋焼灼術
在宅患者訪問看護・指導料の注16(同一建物居住者訪問看護・指導料の注6の規定により準用する場合を含む。)に規定する専門管理加算	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
遺伝学的検査の注1に規定する施設基準	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
骨髄微小残存病変量測定	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
BRCA1/2遺伝子検査	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
がんゲノムプロファイリング検査	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
先天性代謝異常症検査	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	経皮的下肢動脈形成術
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
検体検査管理加算(IV)	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
国際標準検査管理加算	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
遺伝カウンセリング加算	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))

心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	腹腔鏡下胃縮小術
胎児心エコー法	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
ヘッドアップティルト試験	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
人工膵臓検査、人工膵臓療法	腹腔鏡下肝切除術
長期継続頭蓋内脳波検査	腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
神経学的検査	移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
補聴器適合検査	生体部分肝移植術
小児食物アレルギー負荷検査	同種死体肝移植術
経頸静脈的肝生検	体外衝撃波膵石破碎術
CT透視下気管支鏡検査加算	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
口腔細菌定量検査	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
有床義歯咀嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
有床義歯咀嚼機能検査2の口及び咬合圧検査	腹腔鏡下膵中央切除術
精密触覚機能検査	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
画像診断管理加算4	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
歯科画像診断管理加算1	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
歯科画像診断管理加算2	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
遠隔画像診断	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)

ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
CT撮影及びMRI撮影	同種死体腎移植術
冠動脈CT撮影加算	生体腎移植術
血流予備量比コンピューター断層撮影	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外傷全身CT加算	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
心臓MRI撮影加算	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
乳房MRI撮影加算	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
小児鎮静下MRI撮影加算	腹腔鏡下仙骨腔固定術
頭部MRI撮影加算	腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
全身MRI撮影加算	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
肝エラストグラフィ加算	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
外来化学療法加算1	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
無菌製剤処理料	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	体外式膜型人工肺管理料
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	輸血管理料Ⅱ
摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2	貯血式自己血輸血管理体制加算

がん患者リハビリテーション料	コーディネート体制充実加算
リンパ浮腫複合的治療料	自己生体組織接着剤作成術
通院・在宅精神療法の注8に規定する療養生活継続支援加算	自己クリオプレシピレート作製術(用手法)
通院・在宅精神療法の注11に規定する早期診療体制充実加算	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
通院・在宅精神療法の注12に規定する情報通信機器を用いた精神療法の施設基準	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
救急患者精神科継続支援料	麻酔管理料(Ⅰ)
認知療法・認知行動療法1	麻酔管理料(Ⅱ)
精神科ショート・ケア「小規模なもの」	周術期薬剤管理加算
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	放射線治療専任加算
医療保護入院等診療料	外来放射線治療加算
多血小板血漿処置	高エネルギー放射線治療
人工腎臓	一回線量増加加算
導入期加算3及び腎代替療法実績加算	強度変調放射線治療(IMRT)
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	画像誘導放射線治療(IGRT)
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	体外照射呼吸性移動対策加算
難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	定位放射線治療
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
ストーマ合併症加算	画像誘導密封小線源治療加算
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	保険医療機関間の連携による病理診断
皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製

皮膚移植術(死体)	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
自家脂肪注入	デジタル病理画像による病理診断
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	病理診断管理加算2
椎間板内酵素注入療法	悪性腫瘍病理組織標本加算
緊急穿頭血腫除去術	クラウン・ブリッジ維持管理料
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	看護職員処遇改善評価料64
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	外来・在宅ベースアップ評価料(I)
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	入院ベースアップ評価料77

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
東日本大震災後に誕生した子どもとその家庭への縦断的支援研究－生物・心理学的評価－	八木 淳子	神経精神科学講座	7,884,500	補 委 文部科学省
リジン尿性蛋白不耐症のQOL改善を目指した中枢神経障害への治療法確立の試み	柿坂 啓介	内科学講座消化器内科分野	1,430,000	補 委 文部科学省
肥満症の治療と健康寿命の延伸を目指した褐色脂肪細胞機能活性化の試み	石垣 泰	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	1,300,000	補 委 文部科学省
新規肥満治療の開拓に向けた褐色/ベージュ脂肪細胞の制御機構の解明	長谷川 豊	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	2,210,000	補 委 文部科学省
CKD重症化予防のエビデンス診療ギャップ克服に向けた行動科学的アプローチの探索	旭 浩一	内科学講座腎・高血圧内科分野	1,300,000	補 委 文部科学省
高齢慢性腎臓病患者の健康長寿に関連した栄養摂取実態に関する研究	田中 文隆	内科学講座腎・高血圧内科分野	1,820,000	補 委 文部科学省
慢性腎臓病発症・進展の先天的残余リスクに関する遺伝統計学的検討	吉川 和寛	内科学講座腎・高血圧内科分野	1,300,000	補 委 文部科学省
光干渉断層法画像による深層学習を用いた冠動脈石灰化病変の治療支援ソフト開発	石田 大	内科学講座循環器内科分野	1,300,000	補 委 文部科学省
地域悉皆登録を活用した循環器疾患罹患に関する絶対リスクの網羅的評価	大澤 正樹	内科学講座循環器内科分野	910,000	補 委 文部科学省
関節リウマチ合併肺線維症の病態形成に関する基盤研究	山下 雅大	内科学講座呼吸器内科分野	1,521,000	補 委 文部科学省
抗体薬物複合体による免疫チェックポイント阻害剤の感受性増強機序の解明	仲 哲治	内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	1,820,000	補 委 文部科学省
自己免疫疾患における新規自己抗体およびプロテオーム解析によるバイオマーカーの探索	細野 祐司	内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	1,170,000	補 委 文部科学省

動物個体の発生原理を利用した、異種間肝臓作製技術の確立	鈴木 悠地	内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	1,300,000	補委 文部科学省
肺の血小板産生による血小板機能の不均一性の解明	古和田 周吾	内科学講座血液腫瘍内科分野	1,300,000	補委 文部科学省
パーキンソン病の非構造化データを用いたサブタイプ自動検出に関する研究	前田 哲也	内科学講座脳神経内科・老年科分野	1,950,000	補委 文部科学省
肥満非アルコール性脂肪性肝炎に対する外科治療の改善機序と新規バイオマーカーの探索	佐々木 章	外科学講座	1,300,000	補委 文部科学省
高度肥満患者の細菌叢変化とマルチオミックス解析による肝線維化メカニズムの探索	梅邑 晃	外科学講座	1,300,000	補委 文部科学省
ctDNA解析によるUR-LA膀胱癌Conversion Surgery適応症例の層別化と治療効果判定の確立	片桐 弘勝	外科学講座	1,560,000	補委 文部科学省
ctDNAを用いた大腸癌化学療法効果判定法と転移巣切除適応症例層別化の確立	八重樫 瑞典	外科学講座	1,040,000	補委 文部科学省
拡散テンソル画像を用いた膠芽腫における細胞間質液灌流と浸潤の関係の解明	別府 高明	脳神経外科学講座	1,300,000	補委 文部科学省
くも膜下出血患者の高次脳機能障害を活性化ミクログリアの視点から考察する	久保 慶高	脳神経外科学講座	910,000	補委 文部科学省
受容体PET画像radiomics解析によるDBS術後統合失調症的精神症状の予知	西川 泰正	脳神経外科学講座	910,000	補委 文部科学省
ポストコンディショニングによる下肢虚血再還流障害軽減に関する研究	金 一	心臓血管外科学講座	1,170,000	補委 文部科学省
総肺静脈還流異常症修復術後の肺静脈狭窄予防薬開発ターゲットの探索	迫田 直也	心臓血管外科学講座	47,337	補委 文部科学省
次世代シーケンサーによる全ゲノム解析を用いたTAPVC発生の原因解析	辻 龍典	心臓血管外科学講座	130,000	補委 文部科学省

総肺静脈還流異常症修復術後の肺静脈狭窄予防薬開発ターゲットの探索	枝木 大治	心臓血管外科学講座	62,098	補委 文部科学省
質量分析装置を用いた肺がんリンパ節転移診断に関する研究	出口 博之	呼吸器外科学講座	780,000	補委 文部科学省
p53abn子宮体癌に対する複合的標的治療の探索	馬場 長	産婦人科学講座	1,040,000	補委 文部科学省
子宮癌肉腫に対する免疫逃避改善を誘導するウイルス療法の開発	利部 正裕	産婦人科学講座	1,170,000	補委 文部科学省
プロテオーム解析による、重症気管支肺異形成を予測する新規バイオマーカーの同定	外館 玄一朗	小児科学講座	1,300,000	補委 文部科学省
全国調査による頸動脈小体腫瘍の遺伝子変異の全貌解明と治療ガイドライン作成	片桐 克則	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	1,040,000	補委 文部科学省
耳管の可視化に注目した中耳疾患メカニズムの解明	池田 怜吉	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	390,000	補委 文部科学省
網膜変性におけるオートファジーの役割の解析	橋爪 公平	眼科学講座	1,430,000	補委 文部科学省
上部尿路上皮癌の個別化術後補助療法に向けた腫瘍微小環境と遺伝子変異による統合解析	小原 航	泌尿器科学講座	780,000	補委 文部科学省
腎癌における新規癌特異分子PRELID2の酸化ストレス制御機構の解明と治療開発	加藤 廉平	泌尿器科学講座	1,040,000	補委 文部科学省
筋層非浸潤性膀胱癌におけるBCG膀胱内注入療法感受性プロファイル探索研究	加藤 陽一郎	泌尿器科学講座	260,000	補委 文部科学省
膀胱癌の再発診断における血漿および尿沈渣中変異DNAモニタリング	露久保 敬嗣	泌尿器科学講座	780,000	補委 文部科学省
人工知能を用いた大動脈解離発症リスクの同定および発症高リスク群共有システムの確立	折居 誠	放射線医学講座	390,000	補委 文部科学省

超高線量率照射(FLASH)に対応した放射線治療用小型線量率計開発	山口 哲	放射線医学講座	130,000	補委 文部科学省
質量分析を用いた界面活性剤の代謝物および代謝経路の特定	藤田 友嗣	救急・災害医学講座	1,170,000	補委 文部科学省
地域枠等奨学金養成医師は地域医療従事により地域医療志向性が芽生えるのか？	下沖 収	総合診療医学講座	910,000	補委 文部科学省
悉皆調査による脳卒中発症登録とDPCデータによる脳卒中発症モニタリングに関する研究	大間々 真一	総合診療医学講座	1,040,000	補委 文部科学省
ナトリウム/カリウム比調整醤油の使用で高齢者の安全な降圧は可能か？	高橋 智弘	総合診療医学講座	520,000	補委 文部科学省
ナイロン糸頸動脈狭窄モデルを用いた段階的血行再建後の脳循環変化の検討	千田 光平	岩手県高度救命救急センター	2,340,000	補委 文部科学省
大腸癌におけるTP53遺伝子変異解析の免疫組織化学的解析による代替可能性の検討	刑部 光正	病理診断学講座	1,690,000	補委 文部科学省
dMMR/MSI型胃癌は切除検体および生検の病理組織像から同定できるのか？	杉本 亮	病理診断学講座	520,000	補委 文部科学省
卵巣明細胞癌に対するHSF1経路を標的とした新規治療法の開発	板持 広明	臨床腫瘍学講座	910,000	補委 文部科学省
ICU入室中患者に対する異なる周波数での全身振動刺激装置を用いた筋力増強効果の検討	西村 行秀	リハビリテーション医学講座	2,340,000	補委 文部科学省
子どもの先天性難聴の遺伝学的検査の意味:親の視点からどう捉えられているか	山本 佳世乃	臨床遺伝学科	650,000	補委 文部科学省
聴覚障害当事者の語りを用いた難聴理解教材プラットフォームの開発	小林 有美子	臨床遺伝学科	780,000	補委 文部科学省
口腔機能運動によって変動するヒト生体脳の神経代謝物質の可視化	小林 琢也	歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野	390,000	補委 文部科学省

ラティス構造の人工骨により自家骨移植なしで挑むハイブリッド型顎骨再建法の開発	山田 浩之	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	1,690,000	補委 文部科学省
がん微小環境における腫瘍免疫破綻因子としての口腔細菌ジペプチダーゼ	鈴木 舟	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	1,040,000	補委 文部科学省
ラティス構造を用いたチタンプラズマ溶射コバルトクロム合金製人工下顎骨の開発	星 勲	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	1,521,000	補委 文部科学省
特別支援学校における嚥下機能と食提供の"ミスマッチ"をなくす取り組み	熊谷 美保	口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野	845,000	補委 文部科学省
超小型多軸触圧センサを活用した在宅で使える簡易型とろみ度測定器の開発	齊藤 桂子	口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野	1,105,000	補委 文部科学省
在宅看護でのオーラルリテラシーを向上させる新たな口腔衛生教育ツール開発	橋口 大輔	口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野	975,000	補委 文部科学省
マナマコ含有ゼリーの継続摂取による口臭抑制効果	岸 光男	口腔医学講座予防歯科学分野	325,000	補委 文部科学省
NAFLD早期診断と予後予測を目的とした新たな超音波診断装置の開発	阿部 珠美	内科学講座消化器内科分野	130,000	補委 文部科学省
肝細胞癌の病理解剖のゲノム解析を起点とした、時空間的な薬剤抵抗性機序の解明	鈴木 彰子	内科学講座消化器内科分野	2,990,000	補委 文部科学省
リジン尿性蛋白不耐症:細胞内アミノ酸不均衡を標的とした新規治療法確立を目指して	佐藤 琢郎	内科学講座消化器内科分野	520,000	補委 文部科学省
健康寿命延伸を目指す医科歯科連携強化に資するエビデンス構築のための研究	菊池 調	内科学講座腎・高血圧内科分野	1,690,000	補委 文部科学省
リンパ管シンチグラフィによる心不全におけるリンパ機能の定性化	那須 崇人	内科学講座循環器内科分野	520,000	補委 文部科学省
3D大動脈弁モデルによる経カテーテル的大動脈弁留置術前の冠動脈治療シミュレーション	二宮 亮	内科学講座循環器内科分野	1,430,000	補委 文部科学省

成人T細胞白血病リンパ腫におけるファル酸ジメチルの効果と作用機序を明らかにする。	前田 峻大	内科学講座血液腫瘍内科分野	1,040,000	補委 文部科学省
IADL評価の乖離とMCIの予後に関する前向き観察研究	赤坂 博	内科学講座脳神経内科・老年科分野	130,000	補委 文部科学省
片頭痛患者における脳内水循環代謝動態と高次脳機能および心理状態との関連	鎌田 麻美	内科学講座脳神経内科・老年科分野	1,820,000	補委 文部科学省
HER2陽性胃癌におけるctDNA-ERBB2モニタリングの手法の確立	二階 春香	外科学講座	1,820,000	補委 文部科学省
ctDNAを用いた局所進行直腸癌の再発リスク層別化と治療効果モニタリング法の開発	佐々木 教之	外科学講座	1,690,000	補委 文部科学省
肥満外科手術後の腎機能の変化と肥満健康関連障害改善の機序の解明	安藤 太郎	外科学講座	1,170,000	補委 文部科学省
ctDNAモニタリングを用いた食道癌根治治療後サーベイランスの開発	藤澤 良介	外科学講座	1,690,000	補委 文部科学省
超高磁場CSF flow評価法を用いた慢性虚血認知機能改善メカニズムの解明	攝田 典悟	脳神経外科学講座	1,040,000	補委 文部科学省
脳アミノ酸代謝動態による成人もやもや病血行再建術後認知機能改善のメカニズムの解明	藤本 健太郎	脳神経外科学講座	1,950,000	補委 文部科学省
機械的血栓回収による急性脳虚血再灌流がヒト脳組織に与える神経障害メカニズムの解明	南波 孝昌	脳神経外科学講座	650,000	補委 文部科学省
LINE-1 ORF1pによる予後不良な子宮体癌の診断と治療戦略の開発	佐藤 翔	産婦人科学講座	1,690,000	補委 文部科学省
マウスモデルを用いた造影超音波による転移リンパ節の診断と臨床応用	及川 伸一	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	1,430,000	補委 文部科学省
中枢における語音弁別機構の解明	金城 伸祐	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	130,000	補委 文部科学省

悪性黒色腫の治療抵抗性に対する二重特異性フォスファターゼDUSP4の影響	鎌田 啓文	皮膚科学講座	1,300,000	補委 文部科学省
膀胱がんにおける腫瘍微小環境の免疫プロファイリング研究	五十嵐 大樹	泌尿器科学講座	1,300,000	補委 文部科学省
上部尿路上皮癌におけるctDNAを用いた術後補助免疫チェックポイント阻害薬の効果予測	田村 大地	泌尿器科学講座	1,170,000	補委 文部科学省
Radiomics解析を用いた副作用発生率画像の生成とそれに基づく放射線治療計画法の開発	家子 義朗	放射線腫瘍学科	2,080,000	補委 文部科学省
間葉系幹細胞の抗炎症作用を増強する細胞接着分子を利用した歯周治療への試み	鈴木 啓太	歯科保存学講座歯周療法学分野	1,430,000	補委 文部科学省
歯周病原細菌エキソペプチダーゼによる誤嚥性肺炎病態形成機序の解明	中里 茉那美	歯科保存学講座歯周療法学分野	1,430,000	補委 文部科学省
フルアーチにおよぶ口腔内スキャナーの位置再現精度の検討	深澤 翔太	歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野	1,170,000	補委 文部科学省
各種清掃デバイス、MSC、サイトカインを用いたインプラント周囲炎の治療法の確立	横田 潤	歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野	780,000	補委 文部科学省
EMT関連転写因子の新規活性化分子の同定とその口腔粘膜上皮悪性化マーカーへの応用	平野 大輔	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	1,430,000	補委 文部科学省
酸化ストレス誘導性シグナルのターゲット分子解明によるTMJ-OA新規治療法開発	浅沼 莞奈	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野	1,170,000	補委 文部科学省
DAMPs起因性変形性顎関節症における無菌性炎症の発症機構を解明する研究	松本 識野	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野	1,430,000	補委 文部科学省
骨形成因子を担持・徐放する自己組織化ナノゲル技術を応用した注入型骨補填材の開発	八戸 勇樹	歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野	1,430,000	補委 文部科学省
岩手県における炎症性腸疾患診療の均一化を目的とした大学病院と関連病院連携の強化	松本 主之	内科学講座 消化器内科分野	1,000,000	補委 岩手県

レセプトデータより喘息患者の抽出可能性についての検証研究	川田 一郎	内科学講座呼吸器内科分野	1,000,000	補委	岩手県
岩手県における脳神経疾患患者の自動車運転の実態に関する認知機能および脳形態画像に関する研究	前田 哲也	内科学講座 脳神経内科・老年科分野	1,000,000	補委	岩手県
1型糖尿病患者の疾患レジストリ構築	石垣 泰	内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌内科分野	1,000,000	補委	岩手県
集中治療室などの人的・物的リソースが急性冠症候群の院内成績に与える影響の検討	森野 禎浩	内科学講座 循環器内科分野	1,000,000	補委	岩手県
減量・代謝改善手術における術後腎機能の変化と肥満関連健康障害の改善効果	佐々木 章	外科学講座	1,000,000	補委	岩手県
Quantitative susceptibility mappingを用いた術前頸動脈プラークイメージングによる内膜剥離術中の微小塞栓出現の予知	赤松 洋祐	脳神経外科学講座	1,000,000	補委	岩手県
呼気凝集液を用いた岩手県肺がん検診における新規マーカー検索を目指す研究～より簡便かつ精度の高い検診を目指して～	齊藤 元	呼吸器外科学講座	1,000,000	補委	岩手県
リバーズ型人工肩関節置換術における術後成績の良好・不良因子の検討-岩手県における執刀医育成と手術成績の向上のために-	土井田 稔	整形外科科学講座	1,000,000	補委	岩手県
岩手県における小児血管腫血管奇形治療の最適化に関する研究	櫻庭 実	形成外科学講座	1,000,000	補委	岩手県
先天性心疾患診療の地域集約化にむけた遠隔診断の効果と役割	赤坂 真奈美	小児科学講座	1,000,000	補委	岩手県
岩手県におけるアトピー性皮膚炎治療に関する多施設共同研究	天野 博雄	皮膚科学講座	1,000,000	補委	岩手県
マージナルドナーにおけるドナー腎摘後機能回復に関連する因子の探索と多施設間連携の推進～岩手県全域で取り組む腎移植医療～	小原 航	泌尿器科学講座	1,000,000	補委	岩手県
岩手県における周産期メンタルヘルスに関する教育活動の効果検証	大塚 耕太郎	神経精神科学講座	1,000,000	補委	岩手県

岩手県での寡分割放射線治療の普及を目指した治療手法と治療成績の発信	吉岡 邦浩	放射線医学講座	1,000,000	補 委	岩手県
中央手術部内回復室での全身麻酔覚醒時における筋弛緩モニター使用による安全性と声門上器具使用の有効性に関する研究	鈴木 健二	麻酔学講座	1,000,000	補 委	岩手県
遠隔テレビ会議システムと遠隔病理診断システムを用いた全県にわたる病病連携体制の新たな活用ー岩手モデルの維持と更なる発展を目指してー	柳川 直樹	病理診断学講座	1,000,000	補 委	岩手県
聴覚障害者の救急外来受診における遠隔診療システムの応用	眞瀬 智彦	救急・災害医学講座	1,000,000	補 委	岩手県
青森県量子科学センター委託研究	小林 正和	脳神経外科学講座	2,999,880	補 委	青森県
革新的がん医療実用化研究事業	仲 哲治	内科学講座 リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野	83,200,000	補 委	日本医療研究開発機構
橋渡し研究プログラム	山下 雅大	内科学講座呼吸器内科分野	2,200,000	補 委	日本医療研究開発機構

小計7件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計110件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	事業者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Abe H, Endo K, Kuroda H, et al.	内科学講座消化器内科分野	Immune checkpoint inhibitor-associated colitis in unresectable hepatocellular carcinoma: two cases of early onset after treatment with durvalumab plus tremelimumab	Clin J Gastroenterol. 2024 Apr;17(2):307-310.	Case report
2	Abe T, Toya Y, Sugai K, et al.	内科学講座消化器内科分野	Non-exposed endoscopic wall-inversion surgery for an early gastric cancer arising from heterotopic submucosal gastric glands: A case report	DEN Open. 2025 Mar (オンライン)	Case report
3	Eizuka M, Toya Y, Yamada S, et al.	内科学講座消化器内科分野	A case of undifferentiated pleomorphic rectal sarcoma occurring after radiation exposure	Clin J Gastroenterol. 2024 Dec;17(6):1033-1038.	Original Article
4	Endo K, Kakisaka K, Abe T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Grip strength complements performance status in assessing general condition in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab and bevacizumab	Hepatol Res. 2024 Dec;54(12):1158-1173.	Original Article
5	Endo K, Kakisaka K, Abe T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Positive impact of obesity on the prognosis of liver cirrhosis	J Gastroenterol Hepatol. 2024 Aug;39(8):1663-1672.	Original Article
6	Fujiwara Y, Kuroda H, Abe T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Early Clinical Outcomes of Durvalumab Plus Tremelimumab in Unresectable Hepatocellular Carcinoma: A Real-World Comparison with First-Line or Later-Line Treatment	Drugs Real World Outcomes. 2024 Dec (オンライン)	Original Article
7	Fujiwara Y, Kuroda H, Abe T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Impact of shear wave elastography and attenuation imaging for predicting life-threatening event in patients with metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease	Sci Rep. 2025 Feb 7 (オンライン)	Review
8	Gonai T, Toya Y, Matsumoto T.	内科学講座消化器内科分野	Fishing for a button battery using a self-made magnetic device	Dig Endosc. 2024 Sep (オンライン)	Review
9	Hoshi A, Shimodate Y, Gotoda T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Colitis in a patient with familial Mediterranean fever: Is it Crohn's disease or ulcerative colitis?	DEN Open. 2024 Sep (オンライン)	Case report
10	Kakisaka K, Sasaki T, Nakaya I, et al.	内科学講座消化器内科分野	Low liver reserve is a risk factor for acute pancreatitis in patients with acute liver failure	Hepatol Res. 2025 Jan. 55(1):130-137.	Original Article
11	Kishimoto K, Kakisaka K, Abe T, et al.	内科学講座消化器内科分野	Autoimmune Hepatitis Complicated by Undiagnosed Factor VII Deficiency: A Pitfall of Coagulopathy	Intern Med. 2024 Jul (オンライン)	Case report
12	Kuroda H, Abe T, Kamiyama N, et al.	内科学講座消化器内科分野	Novel subharmonic-aided pressure estimation for identifying high-risk esophagogastric varices	J Gastroenterol. 2025 Feb (オンライン)	Original Article
13	Morishita T, Yanai S, Toya Y, et al.	内科学講座消化器内科分野	Patients' Preference on Advanced Therapy and Follow-Up Procedure for Inflammatory Bowel Disease in Japan: A Web-Based 3A Survey	Inflamm Intest Dis. 2024 Jul (オンライン)	Original Article
14	Oizumi T, Toya Y, Yanai S, et al.	内科学講座消化器内科分野	Clinical Features of Thiopurine-Induced Acute Pancreatitis: Comparison Between Patients With and Without Inflammatory Bowel Disease	Crohns Colitis 360. 2025 Jan (オンライン)	Original Article
15	Sasaki T, Kakisaka K, Kuroda H, et al.	内科学講座消化器内科分野	Nutritional management for acute liver failure	Hepatol Res. 2024 Aug;54(8):736-744.	Review
16	Sasaki T, Kakisaka K, Miyasaka A, et al.	内科学講座消化器内科分野	Spontaneous reactivation of hepatitis B virus with multiple novel mutations in an elderly patient with resolved hepatitis B virus infection	Clin J Gastroenterol. 2024 Aug;17(4):683-690.	Case report
17	Toya Y, Suzuki S, Monno Y, et al.	内科学講座消化器内科分野	Development of Deep Learning-Based Virtual Lugol Chromoendoscopy for Superficial Esophageal Squamous Cell Carcinoma	J Gastroenterol Hepatol. 2025 Mar;40(3):706-711.	Original Article
18	Chida A, Hasegawa Y, Segawa T, et al.	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	Successful Treatment With Evocalcet Against Familial Hypocalciuric Hypercalcaemia Type 3 (FHH3) Identified by AP2S1 Gene Mutation (p.Arg15Leu)	Case Rep Endocrinol. 2025 Jan (オンライン)	Case report
19	Hasegawa Y, Segawa T, Chida A, et al.	内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科分野	A novel frameshift variant of GATA3 (p.Ala17ProfsTer178) responsible for HDR syndrome in a Japanese family	Endocr J. 2024 Nov (オンライン)	Case report
20	Asahi K, Konta T, Tamura K, et al.	内科学講座腎・高血圧内科分野	The health-economic impact of urine albumin-to-creatinine ratio testing for chronic kidney disease in Japanese patients with type 2 diabetes	J Diabetes Investig. 2025 Jan (オンライン)	Original Article
21	Asano T, Koeda Y, Nasu T, et al.	内科学講座循環器内科分野	Impact of High Care Unit Management on In-Hospital Mortality in Patients with ST-Elevation Myocardial Infarction	Int Heart J. 2025 Mar (オンライン)	Original Article

小計 21件

22	Asano T, Maeno Y, Nakano M, et al.	内科学講座循環器内科分野	Validation of a New Scoring Method to Assess the Efficacy of Rapid Initiation and Titration of Combination Pharmacotherapy for Patients Hospitalized with Acute Decompensated Heart Failure with Reduced and Mildly	J Clin Med. 2024 May (オンライン)	Original Article
23	Cho N, Nakajima Y, Kubo S, et al.	内科学講座循環器内科分野	Comparison of left atrial appendage measurements between conventional transesophageal echocardiography and "Virtual TEE" reconstructed from computed tomography for pre-procedural planning of device closure	Heart Vessels. 2024 Jun;39(6):539-548.	Original Article
24	Hitomi S, Koeda Y, Tosaka K, et al.	内科学講座循環器内科分野	An In-depth Single-center Retrospective Assessment of In-hospital Outcomes in Acute Myocardial Infarction Patients with and without Diabetes	Intern Med. 2024 Oct (オンライン)	Original Article
25	Ishida M, Shimada R, Takahashi F, et al.	内科学講座循環器内科分野	One-Month Dual Antiplatelet Therapy Followed by P2Y(12) Inhibitor Monotherapy After Biodegradable Polymer Drug-Eluting Stent Implantation - The REIWA Region-Wide Registry	Circ J. 2024 May (オンライン)	Original Article
26	Ishida M.	内科学講座循環器内科分野	Novel Applications of the Hybrid IVUS-OCT Imaging System: Suitable Lesions for Hybrid Imaging-Based Physiological Assessment	JACC Asia. 2025 Feb (オンライン)	Others
27	Itoh T.	内科学講座循環器内科分野/医学教育学講座地域医療学分野	Just Because the Acute Myocardial Infarction Patient Is Simply Elderly, or Is There Something Else? - We Need to Acknowledge Sex Differences	Circ J. 2024 Jul (オンライン)	Others
28	Kanehama N, Ninomiya R, Tosaka K, et al.	内科学講座循環器内科分野	Progression of Paravalvular Leak and Hemolytic Anemia After Implantation of Fifth-Generation Balloon-Expandable Transcatheter Heart Valve	JACC Case Rep. 2025 Mar (オンライン)	Case report
29	Kikuchi H, Ishida M, Sato S, et al.	内科学講座循環器内科分野	Stent-less percutaneous coronary intervention for layered plaque possibly caused by repeated coronary spasm	Cardiovasc Interv Ther. 2025 Jan;40(1):180-181.	Case report
30	Kondo Y, Ishida M, Ishisone T, et al.	内科学講座循環器内科分野	Detailed Lipid Profiles and Lipid-related Residual Risk after 12-week 10 mg Rosuvastatin Treatment for Acute Myocardial Infarction	Intern Med. 2024 Nov (オンライン)	Original Article
31	Ninomiya R, Koeda Y, Nasu T, et al.	内科学講座循環器内科分野	Effect of Patient's Symptom Interpretation on In-Hospital Mortality in Acute Coronary Syndrome	Circ J. 2024 Jul (オンライン)	Original Article
32	Numahata W, Kimura T, Koeda Y, et al.	内科学講座循環器内科分野	A comparative study of robotic-assisted and conventional-manual percutaneous coronary intervention using intravascular ultrasound guidance	岩手医学雑誌. 2024.Jun;76(2):45-60.	Original Article
33	Nasu T, Tosaka K, Numazaki H.	内科学講座循環器内科分野	Left ventricular systolic dysfunction and conduction disturbance of cardiac sarcoidosis alleviated by steroid pulse therapy	岩手医学雑誌. 2024.Apr;76(1):27-33.	Case report
34	Sasaki T, Hiraki H, Yashima-Abo A, et al.	医歯薬総合研究所医療開発研究部門/呼吸器内科学分野	Comprehensive Genome Profiling-Initiated Tumor-Informed Circulating Tumor DNA Monitoring for Patients With Advanced Cancer	Cancer Sci. 2025 Mar (オンライン)	Original Article
35	Suzuki Y, Tasaki M, Kakisaka K, et al.	内科学講座リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野/医歯薬総合研究所分子病態解析部門	Possible transmission of leukocyte chemotactic factor 2 amyloidosis after interpopulational liver transplantation	Amyloid. 2024 Sep;31(3):232-234.	Letter
36	Okano Y, Oyake T, Kitamura S, et al.	内科学講座血液腫瘍内科分野	Prognostic predictors of newly diagnosed Diffuse large B-cell lymphoma treated with R-THP-COP regimen	J Clin Exp Hematop. 2025 Mar (オンライン)	Original Article
37	Oyake T, Maeta T, Takahata T, et al.	内科学講座血液腫瘍内科分野	Real-world retrospective analysis of immune checkpoint inhibitor therapy for relapsed or refractory Hodgkin's lymphoma	J Clin Exp Hematop. 2024 Sep (オンライン)	Original Article
38	Yamaguchi T, Nozaki R, Taguchi K, et al.	内科学講座脳神経内科・老年科分野	Nutritional traits in the prodromal phase of Parkinson's disease in community-dwelling older adults in Japan	岩手医学雑誌. 2024.Aug;76(3):75-85.	Original Article
39	Kanno M, Umemura A, Baba S, et al.	外科学講座	Gastric cancer after laparoscopic adjustable gastric banding: A case report	Int J Surg Case Rep. 2024 Jun (オンライン)	Case report
40	Kimura T, Nitta H, Katagiri H, et al.	外科学講座	Effects of the Scopist's Skills on the Perioperative Outcomes of Laparoscopic Liver Resection	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan-Dec (オンライン)	Original Article
41	Kotohata Y, Yaegashi M, Sasaki N, et al.	外科学講座	Rare strangulated intenal hernia following extraperitoneal colostomy for rectal cancer operation: A case report	Int J Surg Case Rep. 2024 Jul (オンライン)	Case report
42	Kumagai H, Baba S, Nikai H, et al.	外科学講座	Stage IV gastric cancer with microsatellite instability-high achieving long-term survival by gastrectomy after nivolumab as third-line therapy: a case report and literature review	Surg Case Rep. 2024 Sep (オンライン)	Case report
43	Kumagai H, Sasaki A, Umemura A, et al.	外科学講座	Predictive factors involving the remission and recurrence of hypertension post-laparoscopic sleeve gastrectomy in Japanese patients with severe obesity	PLoS One. 2024 Dec (オンライン)	Original Article
44	Sasaki T, Iwaya T, Yaegashi M, et al.	外科学講座	Impact of Sensitive Circulating Tumor DNA Monitoring on CT Scan Intervals During Postoperative Colorectal Cancer Surveillance	Ann Surg Open. 2025 Feb (オンライン)	Original Article
45	Segawa T, Yaegashi M, Hirata Y, et al.	外科学講座	Bladder injury caused by a urachal remnant during laparoscopic ileocecal resection: A case report	Int J Surg Case Rep. 2024 Dec (オンライン)	Case report

46	Umamura A, Nitta H, Takeda D, et al.	外科学講座	Transthoracic transdiaphragmatic approach in laparoscopic liver resection for hepatocellular carcinoma in a patient with severe obesity and history of deceased donor liver transplantation	Asian J Endosc Surg. 2024 Apr(オンライン)	Case report
47	Umamura A, Sasaki A, Kumagai H, et al.	外科学講座	Relationships Between Changes in Serum Ketone Body Levels and Metabolic Effects in Patients with Severe Obesity Who Underwent Laparoscopic Sleeve Gastrectomy	Obes Surg. 2024 Jul;34(7):2607-2616.	Original Article
48	Umamura A, Sasaki A, Takamura T, et al.	外科学講座	Relationship between the changes in hepatokine levels and metabolic effects after laparoscopic sleeve gastrectomy in severely obese patients	Surg Today. 2024 Jun;54(6):581-590.	Original Article
49	Kuchida S, Katagiri H, Nitta T, et al.	外科学講座	Renoprotective effect of hypoxia-inducible factor prolyl hydroxylase inhibitors in liver transplant recipients	岩手医学雑誌. 2024.Jun;76(2):61-73.	Original Article
50	Otsuka K, Yaegashi M, Hiraki H, et al.	外科学講座	Use of digital PCR to detect variability in circulating tumor DNA level among colorectal cancer patients with different metastatic sites	岩手医学雑誌. 2024.Apr;76(1):9-20.	Original Article
51	Akamatsu Y, Chida K, Miyoshi K, et al.	脳神経外科学講座	Effects of the Japanese traditional medicine Goreisan on adverse events affecting mucosal edema in patients with subarachnoid hemorrhage treated with clazosentan	Neurosurg Rev. 2025 Mar(オンライン)	Original Article
52	Dobashi K, Akamatsu Y, Yoshida J, et al.	脳神経外科学講座	Flow Diversion Effect in a Saphenous Vein Graft Aneurysm Using a Double-Layer Micromesh Stent: A Case Report	Oper Neurosurg (Hagerstown). 2024 Dec(オンライン)	Case report
53	Miyoshi K, Akamatsu Y, Fujimoto K, et al.	脳神経外科学講座	Endovascular treatment for secondary basilar occlusion caused by spontaneous thrombus migration from the vertebral artery: Two case reports	Radiol Case Rep. 2024 Aug(オンライン)	Case report
54	Oomori D, Akamatsu Y, Uwano I, et al.	脳神経外科学講座	Diagnostic Accuracy of Preoperative Quantitative Susceptibility Mapping for Detecting Histologic Intraplaque Hemorrhage in Cervical ICA Stenosis in Patients Undergoing Carotid Endarterectomy	AJNR Am J Neuroradiol. 2024 Oct(オンライン)	Original Article
55	Uchida S, Serada S, Suzuki Y, et al.	脳神経外科学講座/医歯薬総合研究所分子病態解析部門	Glypican-1-targeted antibody-drug conjugate inhibits the growth of glypican-1-positive glioblastoma	Neoplasia. 2024 Apr(オンライン)	Original Article
56	Yabuki M, Akamatsu Y, Uwano I, et al.	脳神経外科学講座	Association between Preoperative Cortical Magnetic Susceptibility and Postoperative Changes in the Cerebral Blood Flow on Cognitive Improvement following Carotid Endarterectomy	Cerebrovasc Dis.2025 Feb;54(1):20-29.	Original Article
57	Fujimoto K, Akamatsu Y, Nishikawa Y, et al.	脳神経外科学講座	Intraoperative application of indocyanine green and temporary venous occlusion test to assess collateral flow during microvascular decompression for venous-related trigeminal neuralgia: illustrative case	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Apr(オンライン)	Case report
58	Araya S, Akamatsu Y, Ono Y, et al.	脳神経外科学講座	Impact of postoperative cerebral hyperperfusion on 2-year cognitive outcomes of patients undergoing carotid endarterectomy	J Neurosurg. 2024 Aug;142(1):70-77.	Original Article
59	Ono Y, Akamatsu Y, Araya S, et al.	脳神経外科学講座	Clinical Features and Treatment Outcomes in Patients in Their Twenties with Ischemic Moyamoya Disease	Cerebrovasc Dis Extra. 2024 Aug(オンライン)	Original Article
60	Miyoshi K, Akamatsu Y, Fujimoto K, et al.	脳神経外科学講座	Endovascular treatment for secondary basilar occlusion caused by spontaneous thrombus migration from the vertebral artery: Two case reports	Radiol Case Rep. 2024 Aug(オンライン)	Case report
61	Imamura Y, Kowatari R, Koizumi J, et al.	心臓血管外科学講座	Twenty-year experience following aortic valve replacement in patients younger than 60 years of age	J Cardiothorac Surg. 2024 May(オンライン)	Original Article
62	Saitoh D, Yamazaki Y, Tsuji T, et al.	心臓血管外科学講座	Patterns of collateral arteries to the spinal cord after thoraco-abdominal aortic aneurysm repair	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2024 Jun(オンライン)	Original Article
63	Shigeeda W, Tomoyasu M, Yanagawa N, et al.	呼吸器外科学講座	A case of radical surgery for primary lung cancer with idiopathic dilatation of the pulmonary artery: a case report	Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases. 2025 Mar(オンライン)	Case report
64	Yoshimura R, Endo Y, Akashi T, et al.	呼吸器外科学講座	Diagnostic artificial intelligence model predicts lymph node status in non-small cell lung cancer using simplified examination	J Thorac Dis. 2024 Nov(オンライン)	Original Article
65	Baba T.	産婦人科学講座	Trends of minimally invasive surgery in the primary treatment of cervical cancer	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Oct(オンライン)	Review
66	Chiba Y, Kagabu M, Osakabe M, et al.	産婦人科学講座	A single-institution retrospective exploratory analysis on the effectiveness and safety of lenvatinib plus pembrolizumab for advanced endometrial cancer: insights from ProMisE molecular classification system	Jpn J Clin Oncol. 2024 Apr(オンライン)	Original Article
67	Hosomi S, Oyama R, Isurugi C, et al.	産婦人科学講座	Pregnancy Complicated by Extrahepatic Portal Vein Occlusion and Portal Vein Thrombosis: A Case Report	Cureus. 2024 Oct(オンライン)	Case report
68	Ito R, Kagabu M, Sato S, et al.	産婦人科学講座	Cytokine dynamics and quality of life: unraveling the impact of cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy in ovarian cancer patients	Int J Clin Oncol. 2025 Mar;30(3):559-569.	Original Article
69	Jo A, Shoji T, Otsuka H, et al.	産婦人科学講座	Treatment strategies for advanced and recurrent endometrial cancer using immune checkpoint inhibitors	Int J Clin Oncol. 2025 Feb;30(2):229-240.	Review

70	Kagabu M, Baba T.	産婦人科学講座	Enhanced immune checkpoint inhibitor therapy for advanced recurrent cervical cancer: the key to treatment efficacy and maintenance of quality of life	EBioMedicine. 2024 Oct (オンライン)	Review
71	Onoue H, Murakami K, Sato C, et al.	産婦人科学講座	Robot-Assisted Laparoscopic Repair for Recurrence After Robot-Assisted Laparoscopic Sacrocolpopexy: A Case Report	Asian J Endosc Surg. 2025 Jan-Dec (オンライン)	Case report
72	Sato S, Shoji T, Jo A, et al.	産婦人科学講座	Antibody-Drug Conjugates: The New Treatment Approaches for Ovarian Cancer	Cancers (Basel). 2024 Jul (オンライン)	Review
73	Sato T, Kawamura H, Haba G, et al.	産婦人科学講座	Diagnosis of Advanced Gastric Cancer Occasioned by Persistent Postpartum Fever: A Case Report	Cureus. 2024 May (オンライン)	Case report
74	Shoji T, Takatori E, Nagasawa T, et al.	産婦人科学講座	Comparison of Treatment Outcomes Between First-Line Chemotherapy With or Without Bevacizumab for Advanced Ovarian Clear Cell Carcinoma (Tohoku Gynecologic Cancer Unit: TGCU-RS001A Study)	Cancers (Basel). 2024 Nov (オンライン)	Original Article
75	Kaneko H, Tajima G, Oikawa R, et al.	整形外科科学講座	Morphology of the popliteomeniscal fascicles around the popliteal hiatus on three-dimensional images reconstructed from 7 T magnetic resonance imaging: A cadaveric study	Knee. 2024 Dec;51:136-144.	Original Article
76	Yan H, Murakami H, Yamabe D, et al.	整形外科科学講座	Dural perforation and life-threatening central nervous system complications associated with septic arthritis of the lumbar facet joint: illustrative case	J Neurosurg Case Lessons. 2025 Jan (オンライン)	Original Article
77	Kudo M, Akasaka M, Sakuraba M, et al.	小児科学講座	A Neonatal Case of Hemorrhagic Shock Due to Congenital Hemangioma	Cureus. 2025 Feb (オンライン)	Case report
78	Sato A, Takahashi T, Kuwata S, et al.	小児科学講座	Electrical storm induced by premature ventricular beat with extremely short coupling interval in a patient with long QT syndrome type 3	J Electrocardiol. 2025 Jan-Feb;88:153833.	Case report
79	Sato M, Sato A, Saiki H, et al.	小児科学講座	Vasospastic angina preceding diagnosis of arrhythmogenic cardiomyopathy in a young athlete	HeartRhythm Case Rep. 2024 Jun (オンライン)	Case report
80	Toya Y, Oyama K, Tsuchiya S, et al.	小児科学講座	Effects of Total Parenteral Nutrition on Serum Osmolality and Patent Ductus Arteriosus	Cureus. 2024 Jul (オンライン)	Original Article
81	Akanabe R, Ikeda R, Kuwashima S, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Pyogenic Ventriculitis Caused by Cholesteatoma	Tohoku J Exp Med. 2024 Dec 11;264(2):89-92.	Case report
82	Akanabe R, Shiga K, Katagiri K, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Effects of Chemotherapy and Radiation Therapy on Early Laryngeal Cancers	Cancer Diagn Progn. 2024 Jul (オンライン)	Case report
83	Ikeda R.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Diagnosis and treatment of patulous eustachian tube	Auris Nasus Larynx. 2024 Dec (オンライン)	Review
84	Kaneshiro S, Hiraumi H, Kobayashi Y, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Childhood fever and hearing loss associated with CAPOS syndrome	Auris Nasus Larynx. 2024 Aug (オンライン)	Case report
85	Katagiri K, Shiga K, Saito D, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Particle Beam Therapy and Surgery as Radical Treatments for Parotid Malignancies-A Single-Center Preliminary Case Study	J Clin Med. 2024 Jun (オンライン)	Original Article
86	Katsura A, Ikeda R, Kusaka I, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Bifurcation of the Facial Nerve Encountered During Facial Nerve Decompression Surgery	Otol Neurotol. 2024 Jun 1;45(5):e457-e458.	Case report
87	Katsura A, Ikeda R, Suzuki M, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Extent of abscess development in cervical abscesses and pathogenic bacteria related to swallowing function	Acta Otolaryngol. 2024 Nov-Dec (オンライン)	Original Article
88	Katsura A, Kaneshiro S, Hiraumi H, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Investigation of the Positional Relationship Between the Tympanic Segment of the Chorda Tympani and the Incus in Patients With Otosclerosis or Middle Ear Anomalies Using Ultra-High Resolution Computed Tomography	Radiol Res Pract. 2025 Feb (オンライン)	Original Article
89	Tsuchida K, Shiga K, Katagiri K, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座	Successful Salvage of Four Cases of Unresectable Papillary Thyroid Cancer Following Lenvatinib Administration	Cancer Diagn Progn. 2025 Jan (オンライン)	Original Article
90	Kurosaka D, Hashizume K, Oshima H, et al.	眼科学講座	Disappearance of lens epithelial cells detected at the treatment of intraocular lens dislocation 12 months after cataract surgery: A case report	Am J Ophthalmol Case Rep. 2024 Aug (オンライン)	Case report
91	Murakami Y, Imaizumi T, Hashizume K, et al.	眼科学講座	Inhibition of Connective Tissue Growth Factor Expression in Adult Retinal Pigment Epithelial-19 Cells by Blocking Yes-Associated Protein/Transcriptional Coactivator with PDZ-Binding Motif Activity	J Ocul Pharmacol Ther. 2024 May;40(4):246-252.	Original Article
92	Sato J, Hashizume K, Nishida Y, et al.	眼科学講座	Vogt-Koyanagi-Harada disease in a patient with retinitis pigmentosa in one eye and pigmented paravenous retinochoroidal atrophy in the other eye	Am J Ophthalmol Case Rep. 2025 Mar (オンライン)	Case report
93	Yoshida M, Hashizume K, Imaizumi T, et al.	眼科学講座	Impact of Corneal Arcus on the Sealing of Clear Corneal Incisions in Cataract Surgery	Clin Ophthalmol. 2025 Feb (オンライン)	Original Article

94	Inoue T, Watabe D, Furukawa M, et al.	皮膚科学講座	Prevalence and risk factors for onychomycosis in acute care dermatology wards	J Dermatol. 2024 Aug;51(8):1079-1082.	Original Article
95	Tsunoda K, Watabe D, Amano H.	皮膚科学講座	Clinical efficacy of risankizumab in patients with psoriasis: A Japanese case series	JAAD Int. 2024 Apr (オンライン)	Original Article
96	Watabe D, Amano H.	皮膚科学講座	Development of psoriasis during obinutuzumab treatment in a patient with follicular lymphoma.	J Dermatol. 2024 Nov;51(11):e404-e405.	Letter
97	Abe M, Hiraki H, Tsuyukubo T, et al.	医歯薬総合研究所医療開発研究部門/泌尿器科学講座	The Clinical Validity of Urinary Pellet DNA Monitoring for the Diagnosis of Recurrent Bladder Cancer	J Mol Diagn. 2024 Apr;26(4):278-291.	Original Article
98	Abe T.	泌尿器科学講座	The 44th Annual Meeting of the Japanese Society for Apheresis	Ther Apher Dial. 2024 Aug (オンライン)	Others
99	Goto Y, Tamura D, Matsuura T, et al.	泌尿器科学講座	Successful treatment of eosinophilia associated with dialysis-related renal cancer with radical nephrectomy	IJU Case Rep. 2024 Apr (オンライン)	Case report
100	Ikarashi D, Kawamura T, Ogasawara K, et al.	泌尿器科学講座	Tumor-shrinking effects of enfortumab vedotin between primary urothelial carcinoma and metastatic organs	Front Oncol. 2025 Jan (オンライン)	Original Article
101	Kato R, Obara W.	泌尿器科学講座	Persisting challenges in the development of predictive biomarkers for immuno-oncology therapies for renal cell carcinoma	Expert Rev Anticancer Ther. 2025 Feb;25(2):97-103.	Review
102	Kato Y, Ishii S, Goto Y, et al.	泌尿器科学講座/救急・災害医学講座	Emphysematous pyelonephritis diagnosed by acute changes detected via computed tomography: A case report	Clin Case Rep. 2024 Aug (オンライン)	Case report
103	Kawamura T, Ikarashi D, Machida A, et al.	泌尿器科学講座	Changes in Renal Function After Nephroureterectomy for Upper Tract Urothelial Cancer in Elderly Patients	Cureus. 2024 Jun (オンライン)	Original Article
104	Maekawa S, Takata R, Sekiguchi K, et al.	泌尿器科学講座	Prevalence of germline BRCA1/2 pathogenic variants in Japanese patients treated with castration-resistant prostate cancer and efficacy of CRPC treatment in real-world clinical practice	Jpn J Clin Oncol. 2024 Apr (オンライン)	Original Article
105	Matsuura Tomohiko, Toyoshima Moe, Saitoh Mitsuru, et	泌尿器科学講座	Comparison of outcomes in kidney transplantations involving blood-related and non-blood-related living donors: a multicenter retrospective study by the Michinoku renal transplant network	Ren Replace Ther 2024.Jul (オンライン)	Original Article
106	Sekiguchi K, Abe T, Shiomi E, et al.	泌尿器科学講座	Abnormal carnitine metabolism in hemodialysis patients on different anticoagulants	Ther Apher Dial. 2024 Jun (オンライン)	Original Article
107	Ishikawa K, Maekawa S, Takata R, et al.	泌尿器科学講座	Association between catechol-O-methyltransferase expression and the prognosis of prostate cancer	岩手医学雑誌. 2024.Jun;76(2):35-44.	Original Article
108	Abe T, Fukumoto K, Sanjo K, et al.	神経精神科学講座	Analysis of associated factors in emergency psychiatric visits of patients with severe suicide attempts with schizophrenia spectrum disorders	岩手医学雑誌(0021-3284)76巻5号 Page161-171(2024.12)	Original Article
109	Kakisaka K, Yanbe T, Chiba S, et al.	神経精神科学講座	Mental health of mothers who gave birth immediately after the Great East Japan Earthquake and behavioral problems of their children: a 5-year follow-up study focusing on the pregnancy trimester at the time of the disaster	岩手医学雑誌. 2024.Oct;76(4):121-140.	Original Article
110	Matsushita Y, Fukumoto K, Akahira M, et al.	神経精神科学講座	Survey on the practice of care for suicide attempters and dissemination of guidelines for psychiatric emergency treatment in psychiatric emergency medical institutions	岩手医学雑誌. 2024.Aug;76(3):87-103.	Original Article
111	Kato K, Makoto H, Suzuki T, et al.	放射線医学講座	Evaluating the Characteristics of the Totally Implantable Venous Access Device in Cancer Patients Using Fluorodeoxyglucose-PET/CT in the Absence of Suspected Catheter-Related Infections	Cureus. 2025 Feb (オンライン)	Original Article
112	Sone M, Orii M, Ota Y, et al.	放射線医学講座	Energy-integrating detector based ultra-high-resolution CT with deep learning reconstruction for the assessment of calcified lesions in coronary artery disease	J Cardiovasc Comput Tomogr. 2024 Nov-Dec;18(6):575-582.	Original Article
113	Suzuki M, Orii M, Sasaki R, et al.	放射線医学講座	Double-chambered left ventricle as a novel cause of aneurysm formation at the apex of accessory chamber	Radiol Case Rep. 2024 Aug (オンライン)	Case report
114	Tamura A, Ota Y, Yoshioka K.	放射線医学講座	Deep learning reconstruction computed tomography with low-dose imaging	Pediatr Radiol. 2024 Jul (オンライン)	Case report
115	Yamaguchi S, Ariga H, Yoshioka K.	放射線医学講座	Development of a dose-rate dosimeter using a silicon photodiode for a medical linear accelerator in a 10 MV flattening filter-free mode	Rev Sci Instrum. 2024 May 1;95(5):053102.	Original Article
116	Fujiwara T, Harigae H.	臨床検査医学・感染症学講座	Pyridoxine: beyond a cofactor of ALAS	Blood. 2024 Sep (オンライン)	Others
117	Nakamura K, Tanno D, Kitakawa K, et al.	臨床検査医学・感染症学講座	Antiviral Effects of Ozonated Water for Handwashing Against SARS-CoV-2 Omicron Variant Using the E1052-20 Test Method of the American Society of Testing Materials International	Ozone Sci Eng.2024 Nov;46(6):608-612	Original Article

小計 24件

118	Shinzato A, Hibiya K, Nishiyama N, et al.	臨床検査医学・感染症学講座	Unseasonal respiratory syncytial virus epidemics during the COVID-19 pandemic: Relationship between climatic factors and epidemic strain switching	Int J Infect Dis. 2025 May (オンライン)	Original Article
119	Yoshinao D, Takahashi G, Kan S, et al.	救急・災害医学講座	Comparison of diagnostic ability of novel blood endotoxin measurement method using leukocyte-rich plasma sample and existing sepsis markers	岩手医学雑誌. 2024.Oct;76(4):111-120.	Original Article
120	Osakabe M, Yamada N, Sugimoto R, et al.	病理診断学講座	The pattern-based interpretation of p53 immunohistochemical expression as a surrogate marker for TP53 mutations in colorectal cancer	Virchows Arch. 2025 Feb;486(2):333-341.	Original Article
121	Sugai T, Osakabe M, Uesugi N, et al.	病理診断学講座	Comprehensive Analyses of Somatic Copy Number Alterations and Mutations Based on the Adenoma-Carcinoma Sequence	Genes Chromosomes Cancer. 2024 Sep (オンライン)	Original Article
122	Sugai T, Uesugi N, Hamada K, et al.	病理診断学講座	A gastric invasive tubular adenocarcinomatous lesion arising from foveolar-type neoplasia: molecular histogenesis	Clin J Gastroenterol. 2024 Aug;17(4):617-621.	Case report
123	Sugai T, Uesugi N, Osakabe M, et al.	病理診断学講座	The molecular profile of gastric intraepithelial foveolar type neoplasia based on somatic copy number alterations and multiple mutation analysis	Gastric Cancer. 2024 Nov;27(6):1220-1228.	Original Article
124	Sugai T, Uesugi N, Suzuki M, et al.	病理診断学講座	A rare case of neuroendocrine cell tumor mixed with a mucinous component in the ampulla of Vater	Diagn Pathol. 2024 Apr (オンライン)	Case report
125	Ieko Y, Kadoya N, Tanaka S, et al.	放射線腫瘍学科	Radiomics and dosimics approaches to estimate lung function after stereotactic body radiation therapy in patients with lung tumors	Radiol Phys Technol. 2025 Mar;18(1):238-248.	Original Article
126	Kikuchi K, Ishii S, Ieko Y, et al.	放射線腫瘍学科	Androgen Deprivation Benefits in Low-Dose-Rate Brachytherapy With Hydrogel Spacer	Cureus. 2024 Aug (オンライン)	Original Article
127	Kikuchi K, Segawa T, Oikawa H, et al.	放射線腫瘍学科	Cancer Patients' Views on Ultrahypofractionated Radiotherapy: A Questionnaire-Based Survey	Cureus. 2024 Oct (オンライン)	Original Article
128	Itamochi H, Takeshima N, Hamanishi J, et al.	臨床腫瘍学講座	Niraparib in Japanese patients with platinum-sensitive recurrent ovarian cancer: final results of a multicenter phase 2 study	J Gynecol Oncol. 2024 Sep (オンライン)	Original Article
129	Kondo T, Tsuboi H, Nishiyama K, et al.	リハビリテーション医学講座/リハビリテーション部	Effects of rehabilitation treatments jointly considered by physiatrists and rehabilitation therapists in patients with severe burn injury	Burns. 2024 Aug;50(6):1621-1631.	Original Article
130	Aigami Y, Sawada T, Shimizu S, et al.	歯科保存学講座/歯治療学分野	Sealing ability of various endodontic sealers with or without ethylenediaminetetraacetic acid (EDTA) treatment on bovine root canal	Dent Mater J. 2024 Jun (オンライン)	Original Article
131	Oyamada Y, Yamada H, Miyamoto I, et al.	歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野	Application of virtual planning to maxillofacial reconstruction with an implant prosthesis: a case report	Int J Implant Dent. 2025 Feb (オンライン)	Case report
132	Shimada Takafumi, Shimoyama Yu, Ishikawa Taichi, et al.	歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野	Evaluation of Association between Substance P Concentration, Dipeptidyl Peptidase 4 Activity in Saliva and Oropharyngeal Dysphagia: A Pilot Study	岩手医科大学歯学雑誌. 2024 Jun (オンライン)	Original Article
133	Shimamura K, Nojiri T, Kondo H, et al.	歯科補綴学講座冠橋義歯・口腔インプラント学分野/病理学講座病態解析学分野	The potential role of chromodomain helicase DNA-binding protein 3 in defining the cervical width by regulating the early growth stage of the apical papilla during tooth development	J Oral Biosci. 2025 Mar (オンライン)	Original Article
134	Ikeda Y, Yasuhara R, Tanaka J, et al.	口腔顎顔面再建学講座/口腔外科学分野/病理学講座病態解析学分野	PLAG1 overexpression in salivary gland duct-acinar units results in epithelial tumors with acinar-like features: Tumorigenesis of luminal stem/progenitor cells may result in the development of salivary gland tumors consisting of	J Oral Biosci. 2024 Dec (オンライン)	Original Article
135	Kawamata S, Kawai T, Yasuge E, et al.	口腔顎顔面再建学講座/口腔外科学分野	Investigation of the Mechanical Strength of Artificial Metallic Mandibles with Lattice Structure for Mandibular Reconstruction	Materials (Basel). 2024 Jul (オンライン)	Original Article
136	Komatsu Y, Kawai T, Hirano T, et al.	口腔顎顔面再建学講座/口腔外科学分野	Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw: A clinical investigation	J Stomatol Oral Maxillofac Surg. 2024 Dec;125(6):101791.	Original Article
137	Yasuge E, Kawai T, Kawamata S, et al.	口腔顎顔面再建学講座/口腔外科学分野	Biocompatibility Evaluation of an Artificial Metallic Bone with Lattice Structure for Reconstruction of Bone Defect	Materials (Basel). 2024 Aug (オンライン)	Original Article
138	Abe K, Yokota S, Matsumoto S, et al.	生化学講座細胞情報科学分野/口腔保健育成学講座/歯科矯正学分野	Proinflammatory cytokine-induced matrix metalloproteinase-9 expression in temporomandibular joint osteoarthritis is regulated by multiple intracellular mitogen-activated protein kinase pathways	J Oral Biosci. 2025 Mar (オンライン)	Original Article
139	Sakurai N, Sawada T, Kuwajima Y, et al.	口腔保健育成学講座/歯科矯正学分野/医療工学講座	Metallic Ion Release Behaviors from Cobalt-Chromium Alloys Fabricated by Additive Manufacturing with Mechanical Grinding in an Acidic Saline Solution	Materials (Basel). 2025 Jan (オンライン)	Original Article
140	Chiba T, Ota A, Hirano T, et al.	口腔医学講座関連医学分野	Prospects for Narrow Band Imaging Magnification Endoscopy in Oral Lesions: Recommendations from Oral and Maxillofacial Surgeons and a Gastroenterologist	Cancers (Basel). 2024 Dec (オンライン)	Review
141	Chiba T, Wang T, Kikuchi S.	口腔医学講座関連医学分野	Colonoscopic Resolution of Melanosis Coli After Cessation of Senna Laxative Use	Int Med Case Rep J. 2024 Sep (オンライン)	Case report

小計 24件

142	Wang T, Takikawa Y, Suzuki K, et al.	口腔医学講座関連医学分野/内科学講座消化器内科分野	Comparative analysis of sorafenib and lenvatinib on HepG2 cells and human umbilical vein endothelial cells: Involvement of transforming growth factor-β signaling in their molecular effects	Hepatol Res. 2024 Oct;54(10):921-930.	Original Article
143	Ikeda T, Nihei S, Saito K, et al.	薬剤部	Clinical characteristics of patients requiring emergency hospitalization due to immune-related adverse events: a retrospective study	J Pharm Health Care Sci. 2024 Dec (オンライン)	Original Article
144	Omoto T, Asaka J, Kudo K.	薬剤部	Disproportionality Analysis of Osimertinib-related Adverse Events in Elderly Patients Using the Japanese Pharmacovigilance Database	Cancer Diagn Progn. 2024 Sep (オンライン)	Original Article
145	Omoto T, Sugawara D, Sakai M, et al.	薬剤部	Comparison of the effect of 20% mannitol or 15% mannitol plus 5% sorbitol on cisplatin-induced nephrotoxicity: a propensity score matching analysis	医薬品相互作用研究. 2024.Nov;48(3):125-133.	Original Article
146	Nihei S, Asaka J, Yaegashi M, et al.	薬剤部/臨床薬学講座臨床薬学分野	Effect of blood pressure control on the risk of proteinuria during bevacizumab treatment in patients with colorectal cancer: a single-center retrospective cohort study	J Pharm Health Care Sci. 2024 Aug (オンライン)	Original Article
147	Ujije H, Nishiya N, Yamamoto A, et al.	薬剤部/臨床薬学講座情報薬科学分野	Dexamethasone reduces cisplatin-induced hair cell damage by inducing cisplatin resistance through metallothionein-2	Cancer Chemother Pharmacol. 2024 Oct (オンライン)	Original Article
148	Takahashi H, Saito Y, Sugawara K, et al.	臨床薬学講座臨床薬学分野/薬剤部	Quantitative assessment of skin disorders induced by panitumumab: a prospective observational study	Cancer Chemother Pharmacol. 2024 Apr (オンライン)	Original Article
149	Saito S, Baba S, Nikai H, et al.	中央臨床検査部	Flavonifractor plautii Bacteremia With Generalized Peritonitis: A Case Report and Literature Review	Cureus. 2024 Jul (オンライン)	Case report
150	Saito S, Sasaki Y, Nagashima H, et al.	中央臨床検査部	Sarcina ventriculi Bacteremia Complicating Aspiration Pneumonia: A Case Report	Cureus. 2025 Jan (オンライン)	Case report
151	Sato Yuichi, Sato Eiichi, Sato Reina, et al.	中央放射線部	X-ray dosimeter with a high sensitivity current to voltage amplifier driven by a 10 GΩ feedback resistance	岩手医科大学教養教育研究年報. 2024 Dec (オンライン)	Original Article

合計 151件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の所属 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
~					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを入力すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理委員会の審査事項、申請区分、開催日、審査方法、承認後の報告、記録の管理及び公開、申請書受付から審査結果までの流れ等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 10 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 「岩手医科大学利益相反マネジメント規程」は、職員等が行う産学官連携活動に伴い発生する利益相反を適切に管理することにより大学及び職員等の社会的信用及び名誉の保持及び社会貢献の推進を図ることを目的としており、利益相反マネジメント委員会の設置、利益相反マネジメントの実施方法等について規定している。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容 「臨床研究における不適正事案とその対策について」「外国への技術流出のリスク」「研究倫理の成り立ち歴史と基本」「研究デザイン立案のコツ (PICO/PECO・FINER) ～介入研究を中心に～」	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医学部卒業後2年間の臨床研修を修了した者を対象に、認定医および専門医等資格取得のための修練を実施している。各領域（科）に定める修練期間が異なるが、概ね次の3通りのパターンを設けており、各々のライフプランに合わせた研修を行う。

各科の研修は、自院のほか院外（連携）認定施設においても行われ、専門医等取得に向け各領域の定められた症例（数）の臨床経験、論文の執筆・発表および学会参加等、種々の研修を積む。

- ① 臨床研修修了後、専門医取得に向けた専門研修を実施
(概ね、医学部卒業後6年目以降に専門医を取得)
- ② 臨床研修中から社会人大学院へ進学し、博士号の取得と専門研修を並行して実施
(医学部卒業後4年で博士号、6年目以降に専門医を取得)
- ③ 臨床研修修了後、社会人大学院へ進学と同時に専門研修を実施
(医学部卒業後6年で博士号、6年目以降に専門医を取得)

研修プログラムの例として、内科専門研修プログラム（研修期間：3年間）における研修例は以下のとおりである。各領域（科）に定められた所定の研修を修了した後、認定医や専門医試験の合格を経て、その資格を取得することとなる。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	ローテーション	内科Ⅰ（又は内科Ⅱ）					総合診療	救急	内科Ⅱ（又は内科Ⅰ）				
		月1回～2回のプライマリケア当直（大学で研修の場合は内科の一次二次救急当直）を行う											
	目標	基幹施設での研修											
2年次	ローテーション	内科Ⅰ（又は内科Ⅱ）					内科Ⅱ（又は内科Ⅰ）						
		基幹施設での研修											
	目標	45疾患群以上を経験し登録 必要な29症例の病歴要約を全て登録											
3年次	ローテーション	選択内科（Subspecialtyや必要な疾患群を経験するための研修）											
		連携施設での研修											
	目標	70疾患群を経験し200例以上を登録 2年次までに登録された病歴要約の改訂 内科専門医取得のための筆記試験											

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	138 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
松本 主之	消化器内科	教授	40年	
石垣 泰	糖尿病・代謝・内分泌内科	教授	32年	
旭 浩一	腎・高血圧内科	教授	33年	
森野 禎浩	循環器内科	教授	32年	
川田 一郎	呼吸器内科	教授	27年	
仲 哲治	リウマチ・膠原病・アレルギー内科	教授	38年	
伊藤 薫樹	血液腫瘍内科	教授	34年	
前田 哲也	脳神経内科・老年科	教授	32年	
佐々木 章	外科	教授	37年	
赤松 洋祐	脳神経外科	教授	20年	
金 一	心臓血管外科	教授	30年	
齊藤 元	呼吸器外科	教授	34年	
森野 禎浩	整形外科	教授	32年	
櫻庭 実	形成外科	教授	35年	
馬場 長	産婦人科	教授	27年	
赤坂 真奈美	小児科	教授	32年	
櫻庭 実	耳鼻咽喉科頭頸部外科	教授	35年	
黒坂 大次郎	眼科	教授	38年	
天野 博雄	皮膚科	教授	32年	
小原 航	泌尿器科	教授	28年	
大塚 耕太郎	精神神経科	教授	28年	
吉岡 邦浩	放射線診断科	教授	40年	
有賀 久哲	放射線治療科	教授	36年	
鈴木 健二	麻酔科	教授	40年	
眞瀬 智彦	救急科	教授	38年	
仲村 究	臨床検査科	教授	24年	
柳川 直樹	病理診断科	教授	28年	
西村 行秀	リハビリテーション科	教授	29年	
下沖 収	総合診療科	教授	37年	
野田 守	口腔総合診療科	教授	35年	
佐々木 大輔	高度先進保存科	教授	22年	
小林 琢也	高度先進補綴科	教授	25年	
今 一裕	口腔インプラント科	教授	20年	
佐藤 健一	歯科麻酔科	教授	37年	
田中 良一	歯科放射線科	教授	35年	
齊藤 桂子	小児歯科	教授	13年	
熊谷 美保	障がい者歯科	教授	28年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべての

サブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ■がん医療従事者研修（①緩和ケアテレカンファランス、②ELNEC-J看護師教育プログラム、③がん登録研修会、④がんセンターセミナー、⑤合同がんセンターボード、⑥がん早期診断講演会、⑦がん相談支援センター相談員研修会） ■高次脳機能障がい者研修会 ・研修の期間・実施回数 ■がん医療従事者研修（R6年4月～R7年3月） ①R6.4～R7.3：計11回、②R6.6.29～7.6：1回、③R6.11.2：1回、④R7.2.3：1回、 ⑤R7.2.19：1回、⑥R7.2.19、⑦R6.11.8、R7.2.8：2回 ■高次脳機能障がい者研修会（R7.1.21） ・研修の参加人数 ■がん医療従事者研修 1,398名 ■高次脳機能障がい者研修会 113名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 森野 禎浩
管理担当者氏名	病院事務部長 村山 裕孝 及び 各所属総括課長

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	診療記録保管室、電子カルテシステムサーバ又は薬剤部記録管理室
		手術記録	診療記録保管室、電子カルテシステムサーバ又は各診療科外来
		看護記録	診療記録保管室又は電子カルテシステムサーバ
		検査所見記録	診療記録保管室、電子カルテシステムサーバ等又は各診療科外来
		エックス線写真	診療記録保管室、放射線システムサーバ又は各診療科外来
		紹介状	診療記録保管室又は電子カルテシステムサーバ
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事職員課
		高度の医療の提供の実績	病院企画課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院企画課
		高度の医療の研修の実績	医師卒後臨床研修センター
		閲覧実績	病院企画課
		紹介患者に対する医療提供の実績	病院企画課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院企画課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部		
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

- ・紙媒体の診療記録については、1入院1診療録のデジタル・デジタル方式にて管理している。
- ・電子媒体の診療記録については各種サーバにて管理している。
- ・診療記録の院外持ち出しは、原則として禁止している。

- ・紙又は電子媒体で管理している。

- ・紙又は電子媒体で管理している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部、薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部、薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部		

・紙又は電子媒体で管理している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部、薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療安全管理部
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部、薬剤部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療福祉相談室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	内部監査室、医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部

・紙又は電子媒体で管理している。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
閲覧責任者氏名	病院事務部長 村山 裕孝
閲覧担当者氏名	病院企画課総括課長 古内 高志 病院総務課総括課長 佐々木 隆任 医事課総括課長 藤原 友昭 人事職員課総括課長 高木 恵
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室、相談室、会議室
閲覧の手続の概要 ①諸記録閲覧にかかる案内文書を、病院正面玄関に掲示している。 ②諸記録閲覧の求めがあった場合は、諸記録閲覧室にて対応を行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本理念 2. 医療安全管理に関する基本的な考え方 3. 医療安全管理における職員の責務 4. 医療安全管理組織体制の確立 5. 医療安全管理のための職員の教育・研修 6. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 7. 医療事故発生時の対応 8. 医療事故等調査委員会の設置 9. 患者相談窓口の設置 10. 患者との情報共有 11. 内部通報窓口の設置 12. 医療安全に係る監査委員会 13. 特定機能病院間の相互立入 14. 高難度新規医療技術又は未承認新規医薬品等を用いた医療提供 15. 院内暴力への対応 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事故、インシデント・重大インシデント、手術部・血管造影室・内視鏡治療オカレンス、死亡事例等の収集、原因調査、分析 2. 医療安全確保のための改善策の立案、職員への周知 3. 院内巡視等による改善策の実施状況の評価及び見直し 4. 医療安全管理のための研修会の企画、立案、実施 5. 医療安全に関する情報の職員への提供及び注意喚起 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 20 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総合安全対策講習会（本開催1回、eラーニング公開） 	

医療安全対策、医療関連感染制御、医薬品の安全使用、医療機器の研修、
診療用放射線の安全管理

2. 医療安全対策講習会（本開催1回、eラーニング公開）※医療安全シンポジウム

「医療事故を経験した家族が医療者に望むこと -患者家族が医療対話推進者
になって-」

3. 医薬品・医療機器講習会（本開催1回、eラーニング公開）

医薬品安全使用のための講習会、医療機器安全使用のための講習会

4. 新入職員研修（全1回）

5. 新人看護職員研修（全2回）

6. 臨床研修医への研修会（全2回）

7. リスクマネージャー研修（全1回）

8. 看護師による静脈留置針研修 講義と実技試験（全6回）

9. 人工呼吸器基礎講習会（全2回）

10. モニターアラームの安全管理に係る講習会（全3回）

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 病院長、副院長、医療安全管理部長、医療安全管理部等の管理部門への報告
体制の確立と組織的対応の実施

2. 電子カルテネットワークを用いた報告システムの運用

3. 総合医療安全対策会議及び緊急安全対策会議での事実確認及び組織的対応
の実施

4. 総合医療安全対策会議及び医療安全推進委員会、医療安全管理部を通じた再
発予防策の周知と徹底

5. 院内ラウンドによる評価、検証、フィードバックの実施

6. 事故等にかかる診療録、看護記録等の精査、指導

7. 東北厚生局、県央保健所、日本医療機能評価機構への適切な報告

8. 医療安全管理のための医療安全対策マニュアルの整備

9. 放射線・病理レポート未既読管理システムの運用

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染対策に関する基本的考え方</p> <p>(2) 院内感染対策のための委員会、その他の組織に関する基本的事項</p> <p>(3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</p> <p>(4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <p>(5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針</p> <p>(6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針</p> <p>その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、病院長への報告</p> <p>(2) 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに職員への周知を図る。</p> <p>(3) 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う。</p> <p>月1回開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 27 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>※（別添 1）参照</p>	
<p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p> <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染の発生状況を把握するため、病院における感染症の発生動向の情報を共有し、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。</p> <p>(2) 重大な院内感染が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、または発生したことが疑われる場合は地域の専門家等に相談が行われる体制の確保。</p> <p>「院内感染対策の指針」に即した院内感染対策マニュアルの整備、及び見直し。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 ・ 研修の主な内容： 2024.5 総合安全対策講習会（本開催1回、eラーニング公開） 1. 医薬品情報の収集と周知について 2. 医薬品の安全使用について（適応外使用について/最近の医療安全通知より/高濃度カリウム製剤/麻薬等事故時の対応） 2024.12 医薬品安全使用のための研修会・医療機器安全使用のための研修会（本開催1回、eラーニング公開） 1. 医薬品に関する各種情報について 2. 最近の医薬品安全性通知、医療安全通知から 3. 医薬品の適応外使用について（院内製剤含む） 4. ポリファーマシー対策について 5. 医薬品の管理方法について（医薬品の安全使用のための業務手順書、麻薬の事故報告含む）	年 2 回
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 ・ 手順書の作成（有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： 「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づき作成した「業務チェック表」を各部署に配布し、実施状況を確認するために、記入済みのチェック表を回収している。回収した内容を基に、必要に応じて指導を行い、また業務手順書の改訂も実施している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・ 医薬品に係る情報の収集の整備（有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ・ ディアコミットドライシロップ分包250mg/Dravet症候群における間代発作又は強直間代発作（年齢における適応外使用） ・ エンタイビオ点滴静注用300mg/クローン病（年齢における適応外使用） ・ セルセプトカプセル/自己免疫性肝炎 ・ ハイドレアカプセル/再発難治性ランゲルハンス細胞組織球症 ・ ロゼウス静注液/横紋筋肉腫 ・ パクリタキセル注/小細胞肺癌 ・ カルボプラチン点滴静注液+エトポシド点滴静注液/神経内分泌癌 ・ ステララ点滴静注130mg、皮下注45mgシリンジ/クローン病（年齢における適応外使用） ・ 注射用エンドキサン/ラブドイド腫瘍 ・ フィンテプラ内用液2.2mg/mL/ Dravet症候群における間代発作又は強直間代発作（年齢における適応外使用） ・ ミダゾラム注射液/内視鏡時の鎮静 ・ セレネース注/内視鏡時の鎮静 ・ フェンタニル/内視鏡時の鎮痛 ・ ソル・メドロール静注用40mg/アナフィラキシー ・ ヴオトリエント錠200mg/横紋筋肉腫（年齢における適応外使用） ・ ロゼウス静注液/胸膜中皮腫 ・ ゲムシタピン点滴静注用/胸膜中皮腫 ・ 滅菌墨汁/粘膜点墨 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 医薬品安全性通知 ・ ベンゾジアゼピン受容体作動薬の依存性について ・ 名称類似による薬剤取り違えについて 2. 医療安全情報通知 ・ 食事中止時のインスリン投与による低血糖 ・ 2024年に提供した医療安全情報	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 65 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機器の新規導入時における研修（計24回） 2. 特定機能病院における定期研修（年2回） 3. 臨床研修医、新人看護師の研修（各1回） 4. 医療機器安全使用のための講習会（年5回） 5. e-learningを用いた研修（医療安全管理部にて集計） 6. その他の研修（診療科・部署毎）（計33回） 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定（☑・無） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床工学技士による保守点検（年1または年2回の院内保守：動作点検・消耗品交換等） 2. メーカーまたは委託専門業者による定期保守点検（年1回程度の定期保守） 3. 保守付リース契約機器における専門業者による保守点検（年1回の定期保守） 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備（☑・無） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： なし <ol style="list-style-type: none"> 1. 不具合や安全性情報については、当該機器に関連する製造販売業者より、一元的かつ正確に情報収集を行い、得られた内容を集約し、関連する部署スタッフへ遅滞なく、情報の提供に努めている。 2. 医療機器の添付文章、取扱説明書や簡易操作手順書など、機器の安全使用・保守点検等に関する情報の整理および管理を実施。 3. 医療機器の不具合や健康被害等に関し情報収集に努め、病院管理者・医療安全管理部・医療機器安全管理責任者へ向けて、速やかに情報提供を行っている。 4. 医療機器に関連した、院内で発生したインシデント事例に関して、再発防止対策のために通知文を作成し、関連部署へ周知を図っている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>例①：自主回収対象となった「ビデオ咽頭鏡（McGRATH）」において、メーカーから得た緊急通知を速やかに医療安全管理部、医療機器安全管理責任者と共有した。また、院内への情報提供用として安全通知書を作成、自主回収の旨について情報提供を行った。後日、回収対象機器は、スタッフが現状確認を行い、メーカーと今後の方針について協議を行っている。</p> <p>例②：酸素2又アウトレットにおいて、人工呼吸器使用中にパイピングが脱落する事例が発生したことを受け、院内に存在する当該部材（155個）の全数点検を実施。そのうち、6個が経年劣化による構造的摩耗を生じており、接続保持力の不良から使用不能と判断、廃棄処理とした。</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（<input checked="" type="checkbox"/>医師・<input type="checkbox"/>歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者は副院長であり、医療安全管理部長及び医療安全推進委員会委員長を兼務して、各組織を統括している。また、医薬品安全管理責任者・医療機器安全管理責任者・医療放射線安全管理責任者は医療安全推進委員会委員であり、同委員会での報告を医療安全管理責任者が受けることにより、その業務を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> （12名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬剤部医薬品情報管理室（DI室）において、厚労省、PMDA、日本医療機能評価機構、日本病院薬剤師会ホームページおよび製薬企業等から情報を収集し整理を行っている。また、医療安全管理部専従薬剤師と情報の共有を行っている。</p> <p>情報共有の周知方法としては、①定期的には「医薬品・医療機器等安全性情報」やDSU（医薬品安全対策情報）、医療安全管理部から「医療安全レター」の発行、および薬剤部から「DIニュース」の発行。②緊急時の場合等には必要に応じ、医療安全管理部から「医療安全通知」および薬剤部からの「業務連絡」「医薬品安全性通知」の発行。③電子カルテに「医薬品関連情報」ページを開設し、職員がいつでも確認できるようにしている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認・適応外・禁忌（併用・疾患）等については調剤時の疑義照会や病棟薬剤師による把握に務めている。把握できたデータは、持参薬鑑別時のものを含めて、医薬品情報管理室（DI室）に集約し、集計後、医薬品安全管理責任者に報告している。</p> <p>また、処方医に対する確認や指導を行う手順については、①調剤時や病棟薬剤師ができるだけ疑義照会を行う。②DI室で集約検討後、医薬品安全管理責任者と協議の上、「医薬品安全情報」を作成し、文書にて全体への周知の他、該当診療科や担当医師へ報告を行っている。③状況に応じて、担当医師へ電子カルテや直接の報告を行い、検討を促すなどを行っている。</p> <p>・担当者の指名の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p>	

(所属：薬剤部 医薬品情報管理室，職種 薬剤師)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有・無

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：病状説明書・同意書を病院統一の様式に変更し、既存の様式で変更等があれば随時対応している。新規申請については、病院情報管理課(診療情報管理室)並びに医療安全管理部が連携し確認している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有・無

- ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：
診療記録監査委員会にて監査基準に沿って確認し、不備がある場合は改善するよう指導している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

- ・所属職員：専従(5)名、専任(5)名、兼任(8)名
うち医師：専従(1)名、専任()名、兼任(2)名
うち薬剤師：専従(1)名、専任()名、兼任(1)名
うち看護師：専従(3)名、専任()名、兼任(1)名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

- ・活動の主な内容：
 1. 医療安全に係る会議資料及び議事録の作成等の事務
 2. 事故等発生時の患者等への対応状況の要因分析と再発予防策の立案及び指導
 3. 事故等の原因究明の実施状況等の要因分析と再発予防策の立案及び指導
 4. 医療に関わる安全管理のための職員研修の企画・実施
 5. 医療安全対策マニュアルの整備、職員への周知
 6. 医療安全対策に関する職員への周知及び評価
 7. 医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリング
 - 院内巡視によるスタッフミーティングで提起された改善策の実施確認
 - 全手術におけるオカレンスのモニタリング
 - 放射線・病理レポートの見落とし防止策の実施と指導、他
 8. 医薬品、医療機器、医療放射線の安全使用に関する管理状況の確認及び必要な指導
 9. 患者相談窓口の相談情報の把握及び相談体制への支援、医療安全管理への活用及び反映

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 2 件）、及び許可件数（ 2 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 1. 高難度新規医療技術の提供に係る担当部門として医療安全管理部に設置
 2. 高難度新規医療技術の申請内容の確認
 3. 評価委員会の意見を踏まえ、申請内容の可否を決定
 4. 定期的（退院後を含む）に手術記録・診療録等によって技術提供状況を確認
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ ・ 無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）
（※適応外の申請件数 23 件、未承認薬の申請件数 1 件。申請件数 24 件のうち許可件数 23 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 1. 未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に係る担当部門として医療安全管理部に設置
 2. 未承認新規医薬品等の申請内容の確認
 3. 評価委員会の意見も踏まえ、申請内容の可否を決定
 4. 定期的に診療録等の記載内容を確認
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ ・ 無 ）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ ・ 無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 714 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったも

のとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 287 件（3b、4a、4b）

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

1. 医療安全管理部、医療安全管理部長、副院長、病院長で全死亡症例の死亡前から死亡に至る過程の診療記録等を回覧し、妥当性を検証
2. 疑義が生じた場合は、当該部署に対して医療安全管理部が確認、更なる確認が必要な場合等は緊急安全対策会議を開催して確認、妥当性を検証
3. 必要な合併症・偶発症報告を推奨し、必要な再発防止策の策定や指導を行う。それらの結果を病院長に報告すると共に、医療安全推進委員会で周知

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：東京慈恵会医科大学附属病院）・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：東京慈恵会医科大学附属病院）・無）
- ・技術的助言の実施状況

【技術的助言】

病棟常備管理薬品の薬剤師による確認が月 1 回のようなのですが、安全な使用状況確認や数量削減を目指す目的で、週 1 回など頻度を増やすことが望ましいと考えます。

【実施状況】

担当部署にて検討を行い、確認の頻度を週 1 回に変更した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者サポートセンターに窓口を設置し、医療ソーシャルワーカーが対応している。

「医療相談・苦情相談等にかかる業務規程」にのっとり、対応している。

相談に応じる時間帯は、月曜日から金曜日は、8：30～17：00、第 1・第 4 土曜日は、8：30～12：30。対面・電話による相談を受けつけている。面談時は個室を利用し、プライバシーの保護に努めている。匿名での相談も受けつけている。

院内 24 カ所にポスター「医療福祉相談窓口のご案内」を掲示し、周知を図っている。

安全管理に関する相談については、窓口責任者（医療福祉相談室総括課長）を通じ、医療安全管理部、当該部署へ報告し、協議・対応にあたっている。病院長をはじめとする管理部門へも報告している。

また患者サポート体制充実加算カンファレンスを週 1 回開催し、相談内容を報告・共有している。

病院職員全体に周知が必要な場合は、病院運営会議、管理者会議等で報告し、共有している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

1. 総合安全対策講習会（本開催1回、eラーニング公開）
医療安全対策、医療関連感染制御、医薬品の安全使用、医療機器の研修、
診療用放射線の安全管理
2. 医療安全対策講習会（本開催1回、eラーニング公開）※医療安全シンポジウム
「医療事故を経験した家族が医療者に望むこと -患者家族が医療対話推進者になって-」
3. 医薬品・医療機器講習会（本開催1回、eラーニング公開）
医薬品安全使用のための講習会、医療機器安全使用のための講習会
4. 新入職員研修（全1回）
5. 新人看護職員研修（全2回）
6. 臨床研修医への研修会（全2回）
7. リスクマネージャー研修（全1回）
8. 看護師による静脈留置針研修 講義と実技試験（全6回）
9. 人工呼吸器基礎講習会（全2回）
10. モニターアラームの安全管理に係る講習会（全3回）

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】（森野 禎浩）

日本医療機能評価機構「2024年度特定機能病院管理者研修（2025.1.15）」

【医療安全管理部長】（肥田 圭介）

日本医療機能評価機構「2024年度特定機能病院管理者研修（2024.11.26）」

【医薬品安全管理責任者】（朝賀 純一）

日本医療機能評価機構「2024年度特定機能病院管理者研修（2024.12.12）」

【医療機器安全管理責任者】（鈴木 健二）

日本医療機能評価機構「2024年度特定機能病院管理者研修（2024.11.26）」

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善

のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

病院機能評価（審査実施日 2020 年8 月26 日～28 日）

2022 年度第 1 回医療安全に係る監査委員会（2022年12月23日開催）

2022 年度第 2 回医療安全に係る監査委員会（2023 年 2 月 21 日開催）

2023 年度第 1 回医療安全に係る監査委員会（2023 年 9 月 8 日開催）

2023 年度第 2 回医療安全に係る監査委員会（2024 年 2 月 20 日開催）

2024 年度第 1 回医療安全に係る監査委員会（2024 年 9 月 12 日開催）

2024 年度第 2 回医療安全に係る監査委員会（2025 年 2 月 14 日開催）

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

病院機能評価で指摘された医療安全に関する評価項目については、課題としてあげられた点を改善すべく院内の体制整備等の取り組みを行い、最終的な審査結果は学内ウェブページに公開し、全職員が閲覧可能なものとした。監査委員会の監査内容については議事録を附属病院ホームページ上に公開している。

・評価を踏まえ講じた措置

監査委員会で指摘された「インシデント報告件数の減少に対する対応」については、医療安全推進委員会等でインシデント報告の意義を説明し、職員 1 人当たりの報告件数増加に向けた呼びかけを継続的に行うとともに、レベル 0 報告の報告項目を簡素化し、報告しやすいものとした。

（注）記載時点の状況を記載すること

2024年度 感染対策講習会（実績）

	講習会	開催日・開催回数	内容・講師	参加数
全職員対象	1 総合安全対策講習会	eラーニング	総合安全対策講習会 医療安全管理部、感染制御部、薬剤部、CEセンター、放射線医学講座	2,908
	2 感染対策講習会 抗菌薬適正使用研修会	2024年10月22日 他 eラーニング	感染対策の基本 感染制御部員	2,762
	3 感染対策講習会 抗菌薬適正使用研修会	2024年11月26日 他 eラーニング	周術期感染対策の重要性 新久喜総合病院 消化器センター 小野 聡 先生	2,370
	4 感染対策講習会 抗菌薬適正使用研修会	eラーニング	抗菌薬適正使用推進について 内丸メディカルセンター ASTメンバー	1,700

9,740

	講習会	開催日	内容・講師	参加数
職種別・部署別対象	1 新人職員研修	2024年4月3日	オリエンテーション、PPE・マスク着脱、手洗い実習 感染制御部長 長島広相、感染制御部専従 近藤啓子/嶋守一恵/及川みどり/中嶋香里/大森紀和	120
	2 新人看護職員研修	2024年5月8日	新人看護職員 安全なケアの実践研修（感染対策） 感染制御部専従看護師 中嶋香里	71
	3 看護補助者研修（採用時①）	2024年4月15日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 及川みどり	3
	4 看護補助者研修（採用時②）	2024年7月8日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 及川みどり	1
	5 看護補助者研修（採用時③）	2024年10月2日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 及川みどり	1
	6 看護補助者研修（採用時④）	2025年1月21日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 及川みどり	4
	7 看護師と看護補助者の協働研修	2024年6月7日	看護補助者研修 感染制御部専従看護師 及川みどり	52
	15 専門・認定看護師会 感染管理研修会	2024年6月19日	チームで楽しく感染対策を学ぼう 感染制御部専従看護師 中嶋香里 及川みどり 近藤啓子 嶋守一恵（内丸メディカルセンター感染制御部）	12
	8 PLN [*] 研修①	2024年7月9日	手指衛生と手荒れ予防ケア/個人防護具の着脱方法 感染制御部専従看護師 中嶋香里	3
	9 PLN [*] 研修②	2024年9月10日	環境清拭、鋭利器材の管理と血液媒介感染防止 感染制御部専従看護師 嶋守一恵（内丸メディカルセンター感染制御部）	3
	10 PLN [*] 研修③	2024年11月12日	器材の洗浄・消毒・滅菌 感染制御部専従看護師 及川みどり	3
	11 PLN [*] 研修④	2024年12月10日	適切な患者配置・事例による感染対策の実践 感染制御部専従看護師 近藤啓子	3
	12 PLN [*] レベルアップ研修	2024年6月11日	事例検討 感染制御部専従看護師 中嶋香里 及川みどり 近藤啓子 嶋守一恵（内丸メディカルセンター感染制御部）	6
	13 PLN [*] レベルアップ研修	2024年8月13日	抗菌薬の適正使用と看護師の役割 感染制御部専従薬剤師 大森紀和	9
	14 PLN [*] レベルアップ研修	2024年10月8日	検体採取の注意点と細菌結果の見方 細菌検査室主任臨床検査技師 成田和也	10
	16 栄養部および委託業者 調理師研修①	2024年6月21日	感染対策の基礎知識 感染制御部専従看護師 近藤啓子	131
	17 栄養部および委託業者 調理師研修②	2024年11月13日	食中毒の予防と院内感染対策 感染制御部専従看護師 近藤啓子	130
	18 CVC講習会	2024年6月12日	中心ライン関連血流感染予防策 他 感染制御部専従看護師 近藤啓子	13
	19 委託業者 清掃・リネン業者教育研修①	2024年10月9日	職業感染防止と対策 感染制御部専従看護師 近藤啓子	72
	20 委託業者 清掃・リネン業者教育研修②	2024年10月16日	職業感染防止と対策 感染制御部専従看護師 近藤啓子	45
	21 感染管理研修①	2024年5月20日	ラターレベルⅢ認定者以上の看護師 講義・演習 感染制御部専従看護師 及川みどり	16
	22 感染管理研修②	2024年10月30日	看護師長 講義・グループワーク 感染制御部専従看護師 近藤啓子	19
	23 アップデート研修③	2025年1月10日	2年目看護職員および希望者 感染制御部専従看護師 近藤啓子	66

*PLN：Practice Leader Nurse(実践指導者ナース)

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 (1) 医師であること (2) 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有すること (3) 組織管理能力等の附属病院を運営する上で必要な資質及び能力を有すること ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 <li style="padding-left: 20px;">附属病院ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) ・ 公表の方法 <li style="padding-left: 20px;">附属病院ホームページに掲載 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
小笠原 邦昭	岩手医科大学	○	学長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
下沖 収	岩手医科大学		医学部長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
小林 琢也	岩手医科大学		歯学部長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
森野 禎浩	岩手医科大学		附属病院長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
鈴木 健二	岩手医科大学		学長が指名する医師である副院長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
肥田 圭介	岩手医科大学		医療安全管理を担当する副院長	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無
臼田 昌広	岩手県立中央病院 病院長		医学及び医療に関し識見を有する学外者	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
野原 勝	岩手県保健福祉部 部長		医学及び医療に関し識見を有する学外者	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無			<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 附属病院の管理運営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 議事の概要については、附属病院臨床部長会議にて通知を行う ・合議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無） ・公表の方法 附属病院ホームページに掲載 ・外部有識者からの意見聴取の有無（有・<input checked="" type="checkbox"/>無） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
森野 禎浩	○	医師	病院長
下沖 収		医師	内丸メディカルセンター長
石垣 靖		医師	副院長
櫻庭 実		医師	副院長
鈴木 健二		医師	副院長
馬場 長		医師	副院長
肥田 圭介		医師	副院長
眞瀬 智彦		医師	副院長
新田 浩幸		医師	副院長
佐藤 悦子		看護師	副院長・看護部長
西島 嗣生		医師	内丸メディカルセンター副センター長
山田 浩之		歯科医師	歯科医療センター長
伊藤 薫樹		医師	病院長補佐
前田 哲也		医師	病院長補佐
小原 航		医師	病院長補佐
房崎 哲也		医師	病院長補佐
工藤 賢三		薬剤師	薬剤部長
植木 葉子		看護師	副看護部長
村山 裕孝		事務	病院事務部長
青木 慎也		事務	病院事務部次長
古内 高志		事務	病院企画課総括課長
佐々木 隆任		事務	病院総務課総括課長
野中 尊史		事務	医療安全管理部事務室総括課長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
附属病院ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容
附属病院長が有する附属病院の管理及び運営に必要な人事及び予算執行権限については、次の各号のとおり定めるものとする。
 - （1） 人事執行権限について 岩手医科大学附属病院規程
 - （2） 予算執行権限について 学校法人岩手医科大学事務専決規程
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
附属病院に、副院長を置く。
副院長は、附属病院長を補佐し、附属病院長に事故あるときは、あらかじめ附属病院長が指名した者がその職務を代理する。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する「2024年度特定機能病院管理者研修（初回・1日間）」を受講済（2025年1月開催）

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況		<input checked="" type="checkbox"/> 有・無			
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① 医療安全管理責任者、医療安全管理部、総合医療安全対策会議、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について附属病院長等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>② 必要に応じて、理事長又は附属病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>有・無）</p> <p>・ 公表の方法： 附属病院ホームページに掲載</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
佐藤 伸之	青森県立中央病院 医療安全推進監、医療安全管理室長	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
長谷川 頌	長谷川菜園法律事務所代表		法律に関する識見を有する者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
奥寺 高秋	元岩手県職員		医療を受ける者 その他医療従事者以外の者	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

内部監査室において、定期監査及び臨時監査を実施している

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法

附属病院ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 附属病院長に対し、附属病院の管理及び運営に関する事項の概要を、理事会に報告することを義務付け、職務の執行を管理している。 ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="checkbox"/>有・無 ） ・ 公表の方法 附属病院ホームページに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）・ 通報件数（年 20 件） ※2024 年度・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ）・ 周知の方法 <p>内部通報窓口の存在及び窓口の使用方法は、総合医療安全対策会議議事録（回覧）及び医療安全推進委員会資料の表紙に記載して周知している。また、「医療安全専用の赤ポスト」を病院職員エリア3カ所に設置し環境を整備している。</p>